

# 鹿角地域の概要 2026



【ドラゴンアイ】



【花輪ばやし】

令和8年5月

# 目 次

## I 鹿角地域のすがた

1	地勢・交通	2
2	人口	3
3	経済・産業	5
4	農業	8
5	商業	15
6	工業	17
7	観光	18
8	雇用	20
9	保健・医療・福祉	21
10	生活・環境	23
11	道路・河川	24
12	管内市町の概要	26
13	教育	28

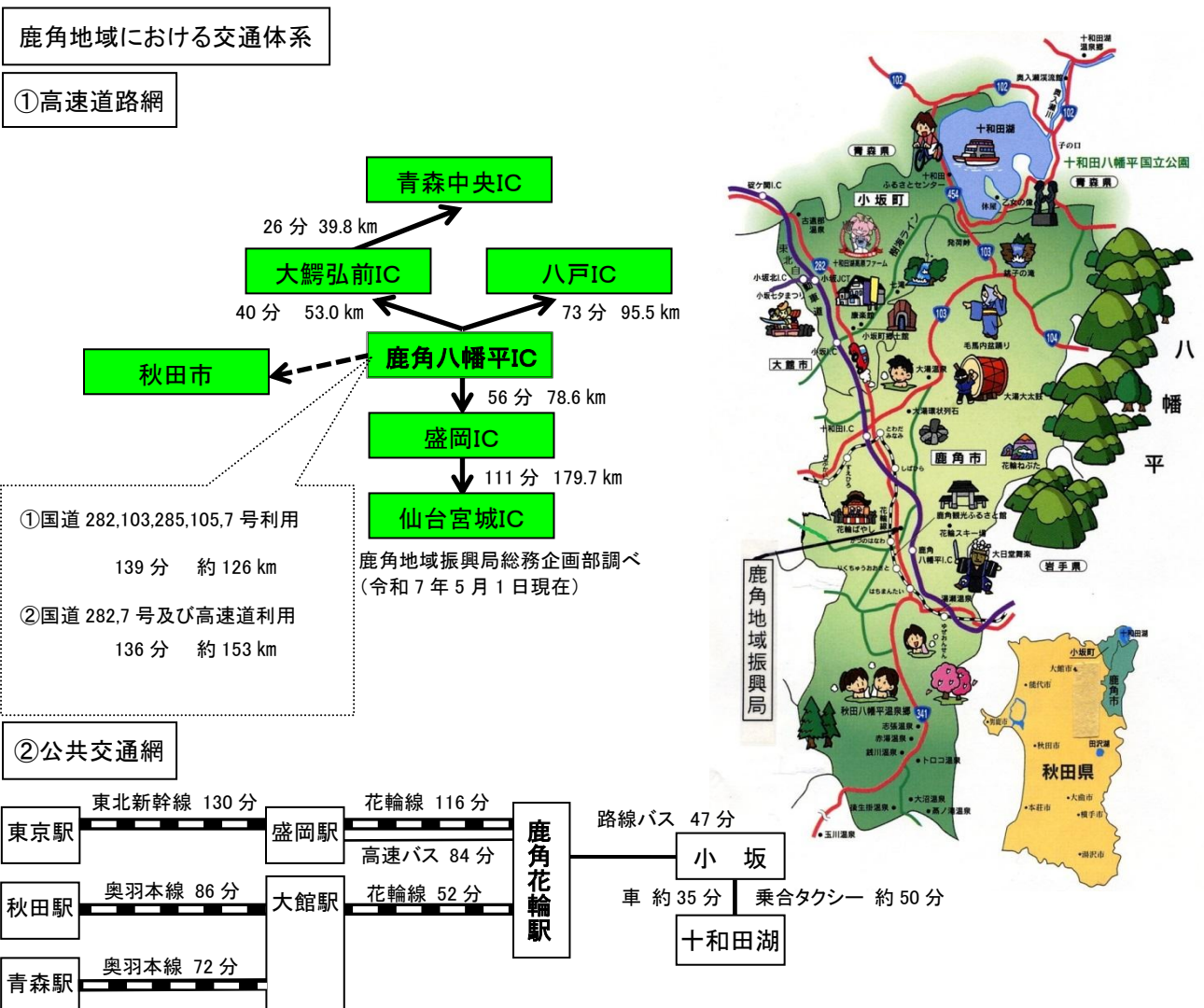
## II 鹿角地域振興局の概要

1	令和8年度鹿角地域振興局組織図	30
2	令和8年度鹿角地域振興局重点施策推進事業の概要	31
3	令和8年度鹿角地域振興局各部の重点事項	
	総務企画部	32
	福祉環境部	34
	農林部	35
	建設部	37
4	令和8年度鹿角地域振興局各部の所管業務	39

## I 鹿角地域のすがた

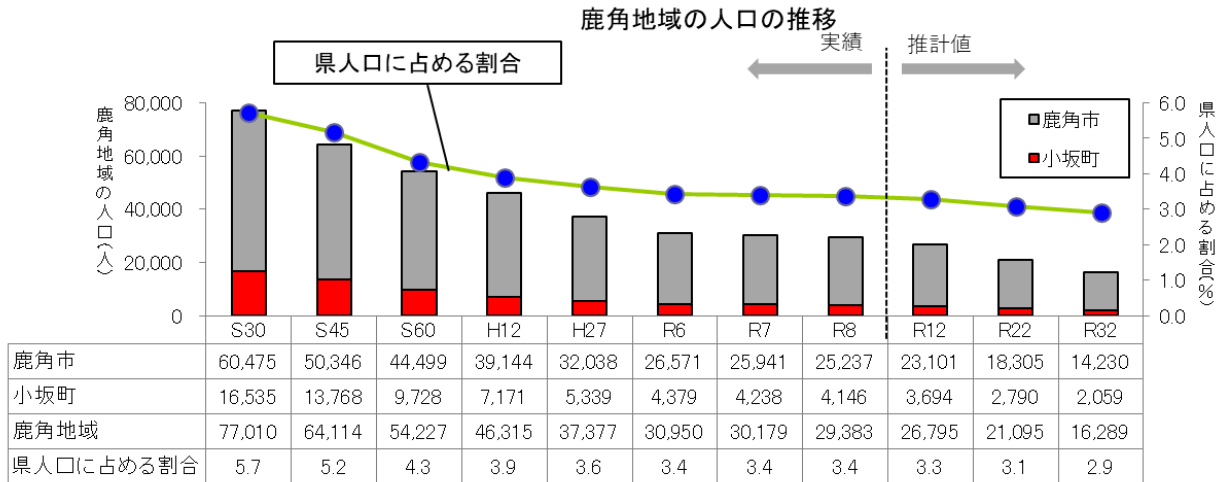
# 1 地勢・交通

- 鹿角地域振興局管内は、鹿角市及び小坂町の一市一町からなり、北東北三県のほぼ中央、秋田県北東部に位置し、十和田湖、八幡平からなる「十和田八幡平国立公園」を有する自然環境に恵まれた地域である。
- 面積は909.22 km<sup>2</sup>（鹿角市：707.52 km<sup>2</sup>、小坂町：201.70 km<sup>2</sup>）であり、秋田県の総面積（11,637.49 km<sup>2</sup>）に占める割合は約7.8%となっている。
- 交通は、南北に東北自動車道が走り、「鹿角八幡平」「十和田」「小坂」の3つのインターチェンジがあり、青森市、盛岡市とも、1時間程で結ばれている。
- 平成25年11月、日本海沿岸東北自動車道の大館北インターチェンジから小坂ジャンクションまでの約16キロが開通し、県都秋田市との時間・距離が短縮したものの、一部未整備区間が残存しており、早期の高速道路の全線開通が期待されている。



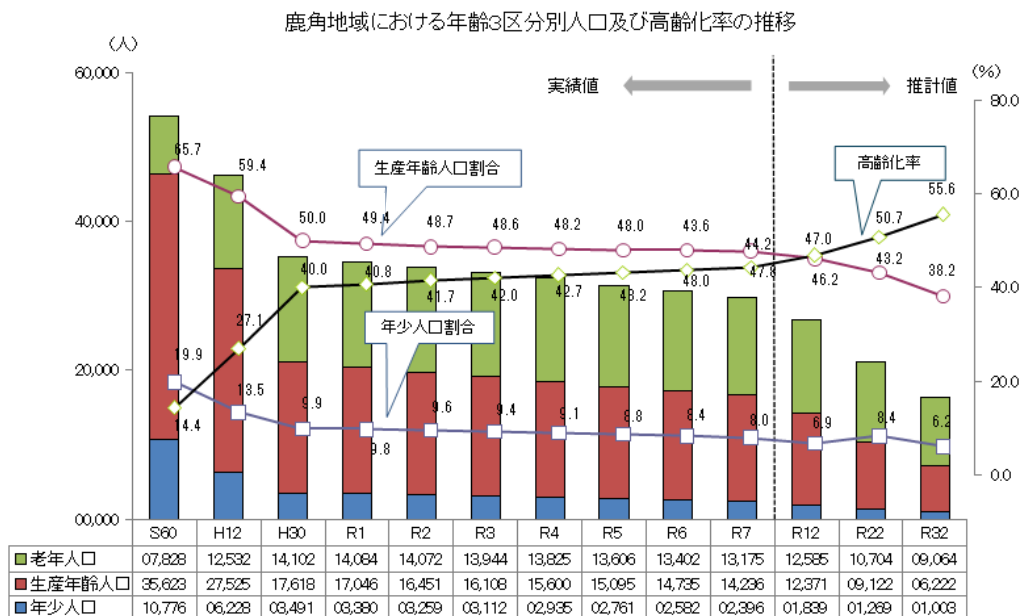
## 2 人口

- 令和8年4月1日現在、管内の人口（推計値）は29,383人（鹿角市：25,237人、小坂町：4,146人）である。昭和30年の77,010人をピークに減少を続けている。
- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、当管内における令和32年の将来推計人口は16,289人であり、県人口全体に占める管内人口の割合は、2.9%となる。



資料) S30～H27: 総務省「国勢調査」  
 R5～R8: 県調査統計課「秋田県の人口と世帯【月報】」  
 R12～R32: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(令和5年推計)」

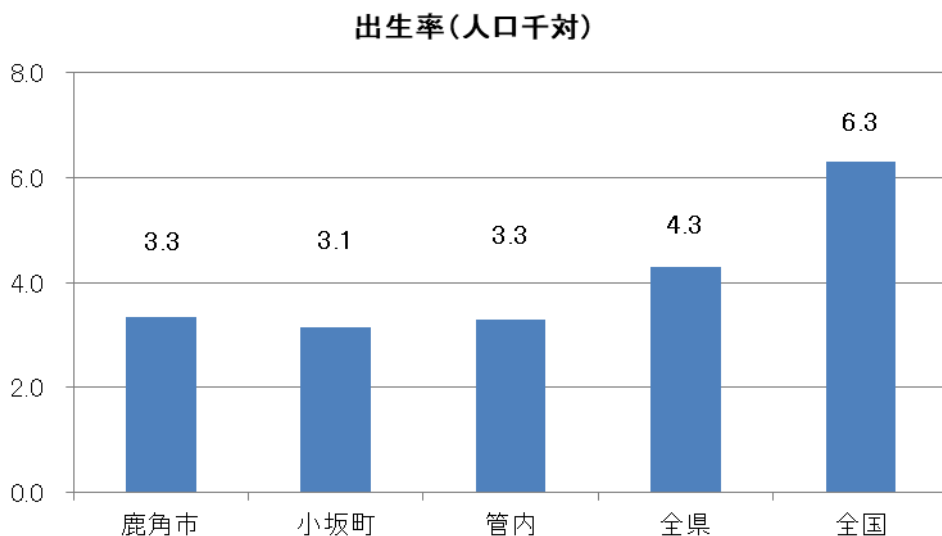
- 年齢3区分別人口の推移では、年少人口割合及び生産年齢人口割合が低下する一方、高齢化率は上昇を続け、人口減少と少子高齢化の進行が続くものと推測されている。



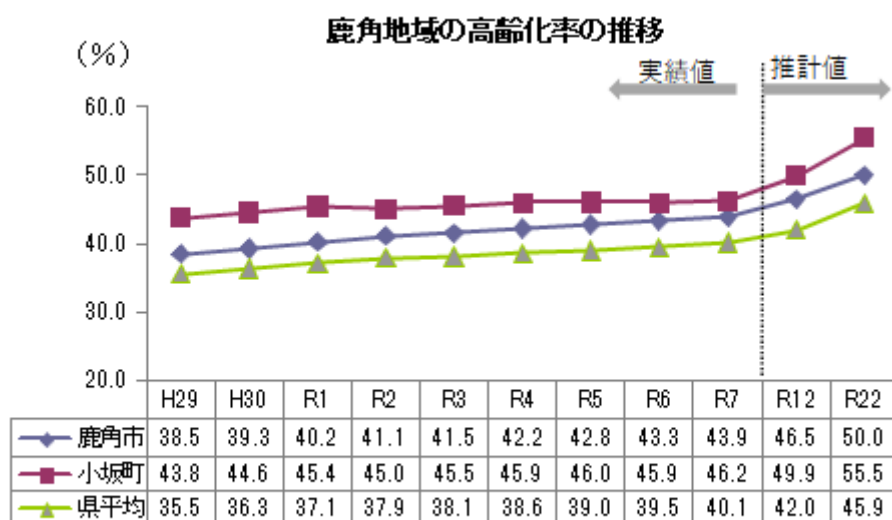
(資料) S60～H12: 総務省「国勢調査」  
 H30～R7: 県調査統計課「R6 秋田県の人口(秋田県年齢別人口流動調査報告書)」  
 R12～R32: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(令和5年推計)」  
 (年齢不詳を除く。県及び鹿角管内の総人口と一致しないことがある)

- 鹿角地域における出生率（人口千人当たりの出生数、令和5年）は3.3であり、全県（6.3）を0.3ポイント下回っている。

資料) 県健康福祉部「令和5年秋田県衛生統計年鑑」



- 令和7年（10月1日現在）における管内市町の高齢化率をみると、小坂町が46.2%で全県11位、鹿角市が43.9%で同13位となっている。
- 県内9町の比較では、小坂町は7位（1位：藤里町52.3%、2位：八峰町51.7%、3位：五城目町51.1%）、県内13市の比較では、鹿角市は4位（1位：男鹿市51.2%、2位：北秋田市47.7%、3位：仙北市46.5%）に、それぞれ位置している。
- 両市町とも、県平均を上回り、高齢化が進行している。



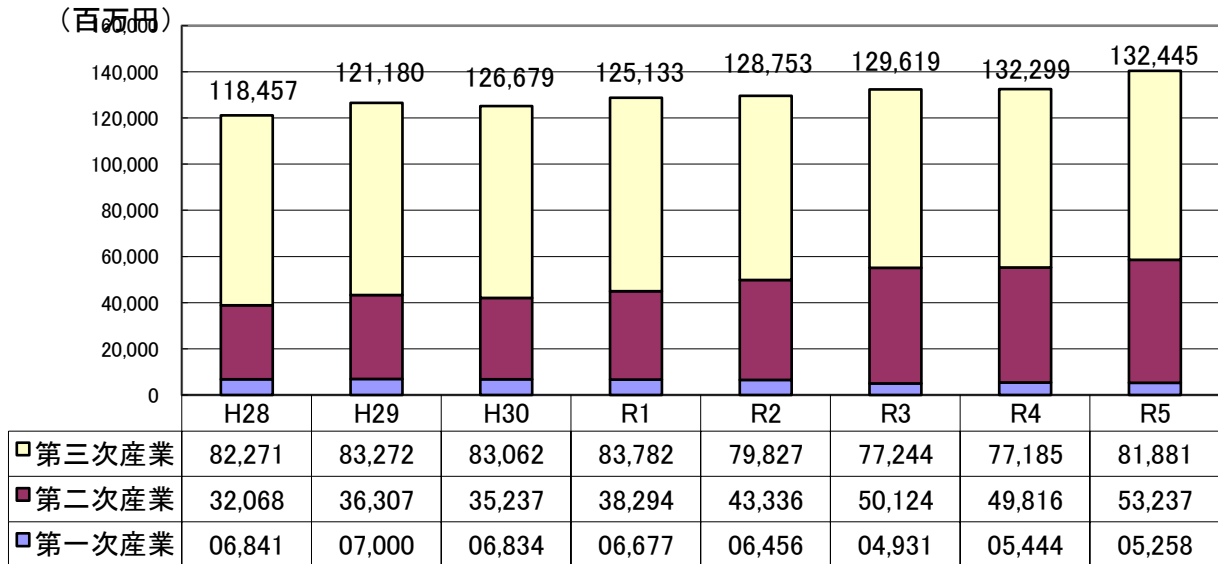
資料) H28～R7: 調査統計課「令和7年秋田県の人口」

R12～R32: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(令和5年推計)」

### 3 経済・産業

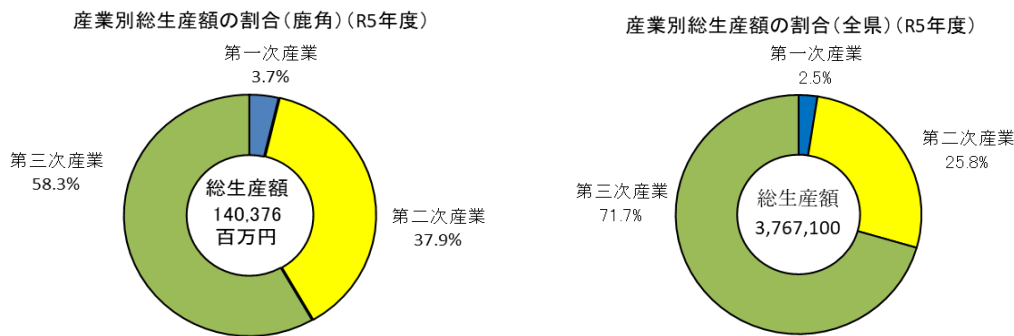
- 令和5年度における鹿角管内の総生産額は、約1,394億円となっており、県内総生産（37,396億円）の約3.7%を占めている。
- 管内の産業別総生産額では、第一次産業及び第二次産業の占める割合が全県平均に比して高くなっており、就業者の割合でも同様となっている。

鹿角地域における総生産額の推移



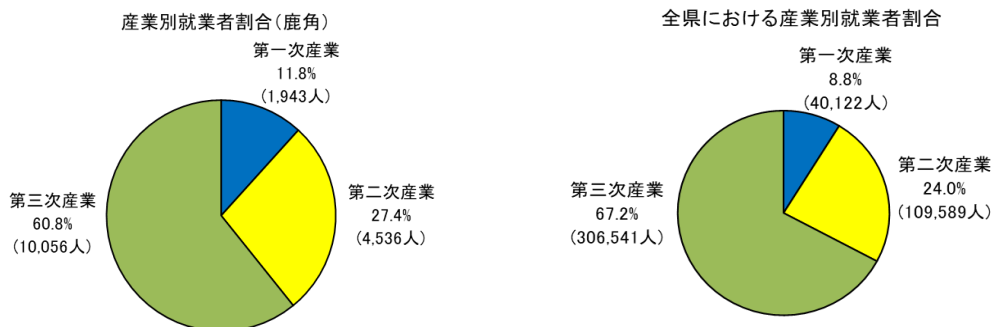
資料) 県調査統計課「令和5年度秋田県市町村民経済計算年報」

※第一次～第三次産業の値は、輸入品に課される税・関税等の控除前のもの。そのため、これらの計は市町村内総生産の値と一致しない。



資料) 県調査統計課「令和5年度秋田県市町村民経済計算年報」

※第一次～第三次産業の値は、輸入品に課される税・関税等の控除前のもの。そのため、これらの計は市町村内総生産の値と一致しない。

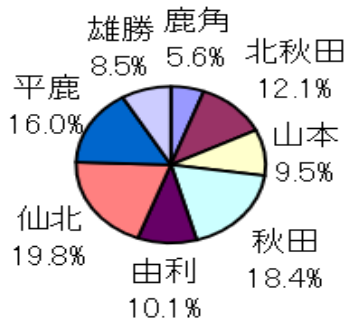


資料) 総務省「令和2年国勢調査」

(1) 第一次産業（農林水産業）

- ・ 令和5年度の第一次産業県内総生産に占める鹿角管内の割合は5.6%である。
- ・ 鹿角地域は、平坦地でも標高が120mほどあり、8月の平均気温も18～23度と冷涼である。その地理的特性を活かし、「かづの北限の桃」やリンゴ等の果樹、キュウリやトマト等の畑作物、さらに、「桃豚」「八幡平ポーク」に代表される養豚を中心とした畜産部門も盛んであることが特色となっている。

地域別 第一次産業生産額の構成比(R5年度)



【管内別総生産】

鹿角	5,258
北秋田	11,234
山本	8,872
秋田	17,120
由利	9,402
仙北	18,490
平鹿	14,891
雄勝	7,916
計	93,183

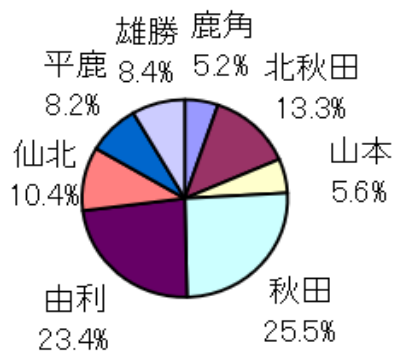
(単位:百万円)

資料) 県調査「令和5年度秋田県市町村民経済計算年報」

(2) 第二次産業（鉱業・建設業・製造業）

- ・ 令和5年度の第二次産業県内総生産に占める鹿角管内の割合は5.2%である。

地域別 第二次産業生産額の構成比(R5年度)



【管内別総生産】

鹿角	53,237
北秋田	135,229
山本	56,972
秋田	259,862
由利	237,667
仙北	105,926
平鹿	83,635
雄勝	85,058
計	1,017,586

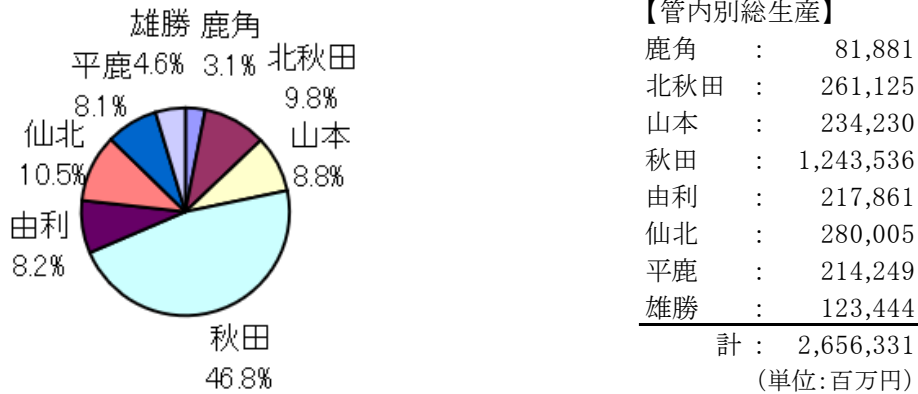
(単位:百万円)

資料) 県調査「令和5年度秋田県市町村民経済計算年報」

(3) 第三次産業（電気・ガス・水道業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、運輸・通信業、サービス業等）

- ・ 令和5年度の第三次産業県内総生産に占める鹿角管内の割合は3.1%である。

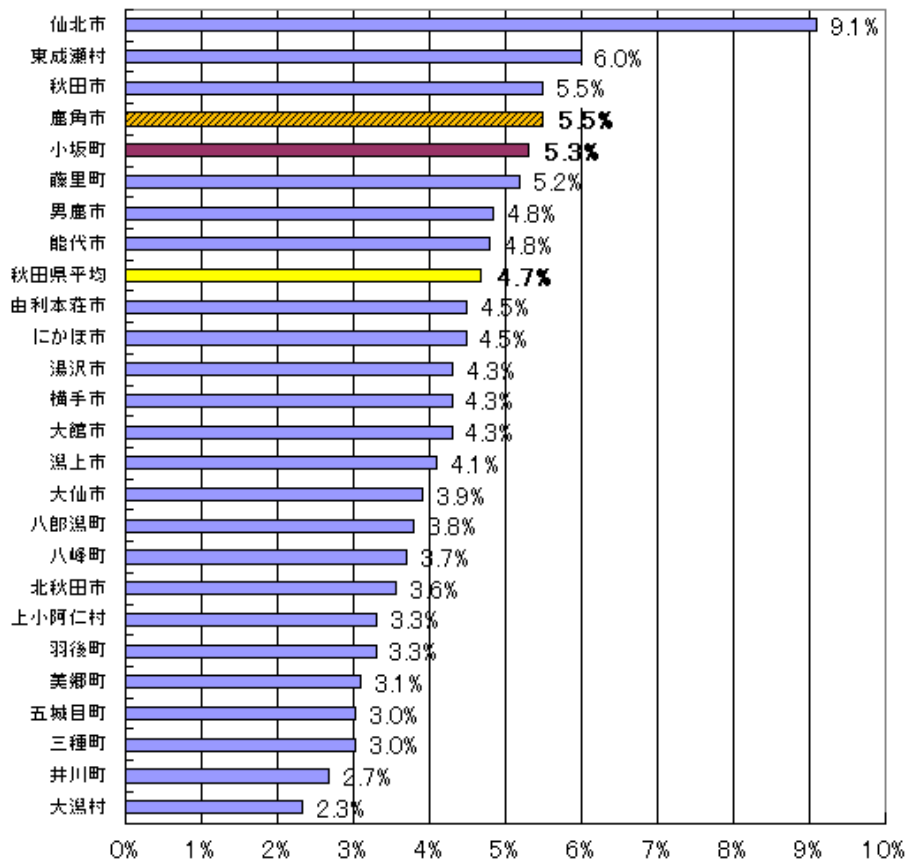
### 地域別 第三次産業生産額の構成比(R5年度)



資料)県調査「令和5年度秋田県市町村民経済計算年報」

- ・ 令和2年国勢調査において、市町村ごとの就業人口に占める「飲食、宿泊業」従事者の割合をみると、鹿角市が5.9%、小坂町が5.3%、となっており、全県平均の4.7%を上回っている（25市町村中、鹿角市・小坂町が上から4番目と5番目に位置している）。

### 県内市町村別の就業人口に占める「飲食、宿泊業」者の割合



資料)総務省「令和2年国勢調査」

## 4 農業

### ○ 管内農業の主要指標

#### ア 農家戸数・認定農業者数

(単位：戸、人、%)

区 分	鹿角市	小坂町	管内計	秋田県	対全県比
総農家数	1,649	148	1,797(100%)	37,116(100%)	4.8
販売農家数	1,136	87	1,223(68%)	27,780(75%)	4.4
自給的農家数	513	61	574(32%)	9,336(25%)	6.1
認定農業者数 (市町認定分)	162	22	188	7,502	2.5
認定農業者数 (振興局認定分)	3				

「2020年農林業センサス」

・認定農業者数は、県集計による（令和8年3月末時点）

#### イ 耕地面積

(単位：ha、%)

区 分	鹿角市	小坂町	管内計	秋田県	対全県比
耕地面積	6,100	841	6,941	146,400	4.7
田	3,500	469	3,969	128,400	3.1
畑	2,600	372	2,972	17,900	16.6
田 率	57.3	55.8	57.2	87.7	—
1戸あたり面積	3.70	5.68	3.86	3.94	—

「第70次東北農林水産統計年報(令和4、5年)」

・1戸あたり面積＝耕地面積／総農家数

#### ウ 農業産出額

(単位：億円)

区 分	管 内		秋 田 県		対全県比	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4
算出額	122.0 (100%)	129.6 (100%)	1,648.9 (100%)	1,670.0 (100%)	7.4%	7.8%
米	21.5 (17.6%)	20.8	876.3 (53.1%)	852.0 (51.0%)	2.5%	2.4%
畜 産	71.9 (58.9%)	79.9	347.2 (21.1%)	378.0 (22.6%)	20.7%	21.1%
野 菜	13.7 (11.2%)	13.9	285.0 (17.3%)	295.0 (17.7%)	4.8%	4.7%
果 実	11.3 (9.3%)	12.8	74.6 (4.5%)	85.0 (5.1%)	15.1%	15.1%
花 き	1.1 (0.9%)	1.2	12.9 (0.8%)	25.0 (1.5%)	8.5%	4.8%
その他	2.5 (2.1%)	1.0	52.9 (3.2%)	35.0 (2.1%)	4.7%	2.9%

「市町村別農業産出額（推計）」

（農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果）」

エ 主要野菜の販売作付面積の推移（管内）

（単位：ha）

年	きゅうり	トマト	ねぎ	アスパラガス	えだまめ
H29	11.5	6.0	4.6	10.0	50.0
H30	11.6	5.5	4.0	7.6	51.9
R 1	10.4	5.5	4.0	8.0	51.0
R 2	10.6	4.5	8.6	7.0	38.0
R 3	10.4	4.4	16.8	6.5	34.0
R 4	9.3	4.1	16.7	4.8	47.7
R 5	9.3	3.9	15.7	5.5	35.2
R 6	9.3	3.8	18.1	5.0	33.7
R 7	10.5	3.6	17.1	4.6	44.8

J A かつの営農経済部調べ

オ 家畜飼養頭数の推移

（単位：戸、頭）

区分	乳用牛				肉用牛											豚					
	戸数	頭数			戸数	繁殖牛頭数					肥育牛頭数						戸数	頭数			
		計	経産	育成		計	黒毛	短角	褐毛	F 1	計	黒毛	短角	褐毛	乳用	F 1		計	繁殖豚	育成豚	肥育豚
鹿角市	6	294	183	111	40	567	383	164	2	18	448	85	135	-	-	228	6	59,777	3,649	672	55,456
小坂町	-	-	-	-	9	52	39	3	10	-	-	-	-	-	-	-	4	63,519	5,084	260	58,175
R 6 計	6	294	183	111	49	619	422	167	12	18	448	85	135	-	-	228	10	123,296	8,733	932	113,631
R 5 計	7	317	210	107	54	746	553	161	15	17	607	215	163	5	-	224	10	116,291	10,451	757	105,083

「家畜改良関係頭羽数調査」（令和7年2月1日現在 速報値）

※ 乳牛の育成にヌレ子等を含む、豚に種雄豚は含まない、肥育牛に去勢子牛を含む。

カ 水田整備率（令和7年度完了分まで）

（単位：ha、%）

区分	水田面積	整備済み面積 (30a区画以上)		内 訳			
		(30a区画以上)		50a区画以上		1ha区画以上	
		面積	整備率	面積	整備率	面積	整備率
鹿角市	3,410	2,354.9	68.5	247.6	7.3	60.3	1.8
小坂町	470	397.6	84.6	65.8	14.0	14.6	3.1
管内計	3,880	2,752.5	70.9	313.4	8.1	74.9	1.9
全 県	127,400	93,997.4	73.8	33,229.1	26.1	22,691.2	17.8

「農地整備課 市町村別ほ場整備実施状況」

○ 管内林業の概要

- ・ 管内総土地面積の79.3%にあたる72,067haが森林で、そのうち国有林は65%、民有林は35%である。民有林の人工林のほとんどがスギである。
- ・ 管内民有林の人工林率は63%で、県平均の58%を上回っている。人工林の齢級構成は3齢級以下（1～15年生以下）が2%、4～10齢級（16～50年生）が47%、11齢級以上（51年生以上）が51%となっている。

○ 管内林業の主要指標

ア 森林面積

(単位：ha、%)

区分	合計	民有林	国有林
鹿角管内	72,067(100)	25,124(35)	46,942(65)
秋田県	839,602(100)	448,080(53)	391,522(47)

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

イ 民有人工林の齢級別面積

(単位：ha、%)

区分	合計	3齢級以下	4～10齢級	11齢級以上
鹿角管内	15,627(100)	290(2)	7,434(47)	7,903(51)
秋田県	256,535(100)	4,010(2)	94,635(37)	157,890(61)

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

ウ 林家戸数

(単位：戸、%)

区分	総数	保有規模		
		1.0～5.0ha	5.0～10.0ha	10.0ha以上
鹿角管内	1,798(100)	1,564(87)	143(8)	91(5)
秋田県	27,697(100)	21,412(77)	3,444(13)	2,841(10)

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

エ 林内道路現況

区分	現況林道		林道現況密度 (m/ha)	林内道路密度 (m/ha)
	路線数	延長(km)		
鹿角管内	58	126	5.2	14.0
秋田県	1,085	2,548	5.8	17.7

「秋田県林業統計（令和6年度版）」

オ 特用林産物の生産量

(単位：kg、俵)

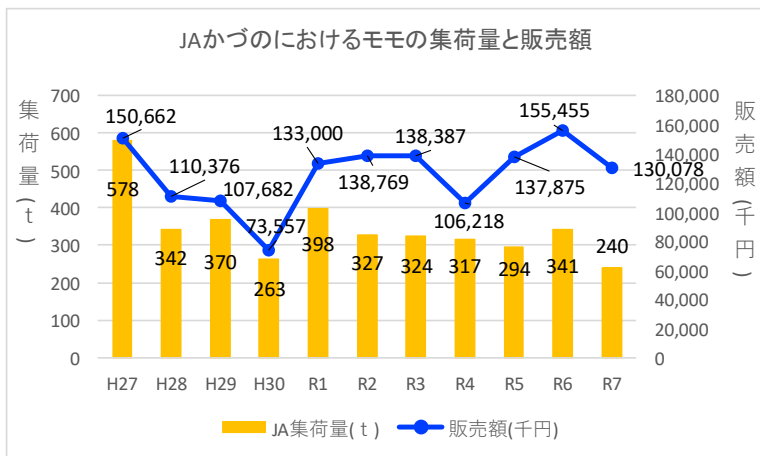
区 分	乾 しいたけ	生しいたけ		なめこ	ねまが りたけ	木炭(15kg俵)	
		原木	菌床			白炭	黒炭
鹿角管内	—	—	11,128	—	2,526	—	—
秋 田 県	2,539	90,465	4,050,739	283,003	6,951	3	151

「秋田県林業統計（令和5年度版）」

## ○ 鹿角地域の主なブランド農畜産物

### (1) かつの北限の桃

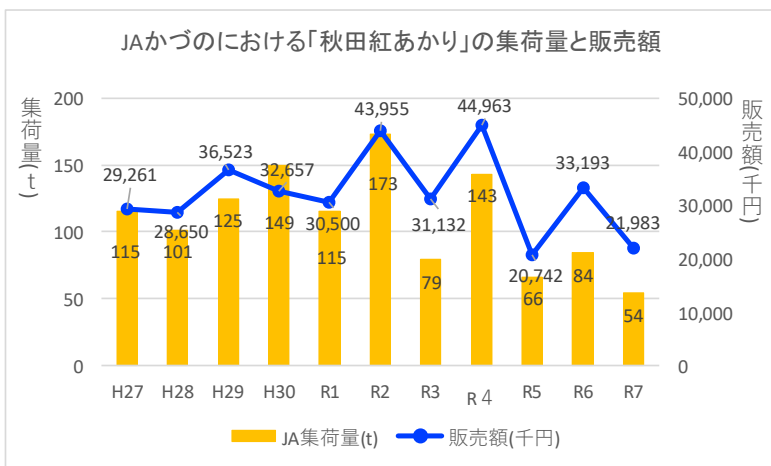
- ・ 鹿角地域の冷涼な気候を活かし、主力品種である「川中島白桃」は、9月上旬から中旬と全国でも最も遅い時期の出荷となっており、糖度の高さからも市場における評価が高い。
- ・ 年々「北限の桃」の知名度が上がってきていることから、高値で販売されている。



ブランド化が進む「かつの北限の桃」

### (2) 秋田紅あかり

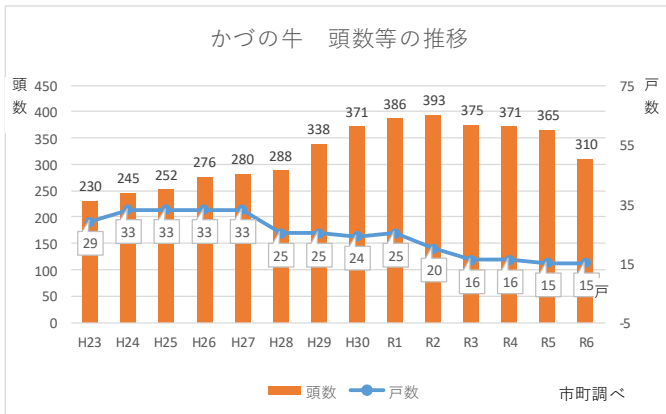
- ・ 鮮やかな紅色の外観と甘さが特徴の県育成オリジナル品種「秋田紅あかり」は、冷涼な気候での栽培が向いていることから、鹿角地域が県を代表する産地となっている。



県育成オリジナル品種「秋田紅あかり」

### (3) かづの牛

- ・ 日本短角種である「かづの牛」は、黒毛和種に比べ脂身が少ない赤身肉であり、消費者の健康志向などから、その価値が高く評価され注目を集めている。
- ・ また、地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等が認められ、令和7年1月30日付けで地理的表示に登録された。
- ・ 鹿角市が「かづの牛」の振興を図るため、平成25年度から草地畜産基盤整備事業（公共事業）により進めた公共放牧場の草地整備・牛舎等の施設整備、県畜産農業協同組合の積極的な増頭や関係機関による消費拡大の取組の結果、平成以降、黒毛和種への品種切替や高齢化による廃業等で230頭まで減少が続いていた頭数が令和2年には393頭まで増加した。  
しかし、その後は担い手の高齢化等により飼養戸数・頭数ともに減少傾向にある。

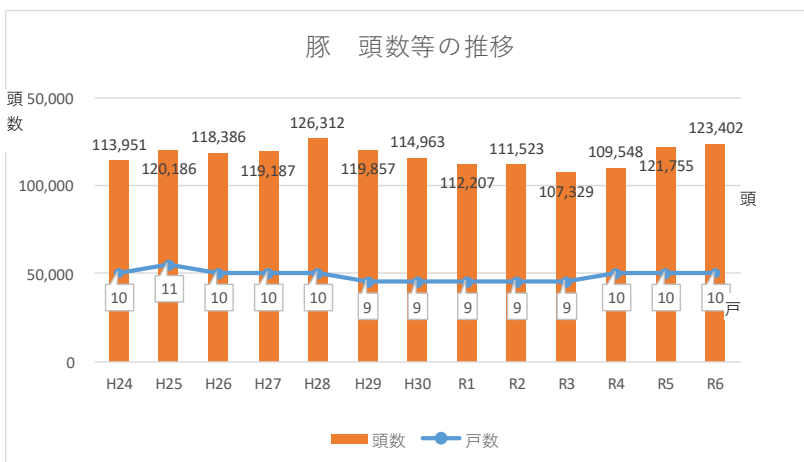


「かづの牛」の放牧風景

### (4) 八幡平ポーク ・ 桃豚

- ・ 鹿角地域では企業経営による養豚が盛んで、管内の飼養頭数は約12万頭と県内頭数の約4割を占めている。特に、(農)八幡平養豚組合の「八幡平ポーク」、ポークランドグループの「桃豚」は、いずれも有名ブランドとなっており、両グループでは加工や輸出※にも取り組むほか、独自の直売店舗を設けるなど販売力の強化に積極的に取り組んでいる。

(※野生イノシシの豚熱感染に伴う措置により令和5年現在輸出は停止)



桃豚

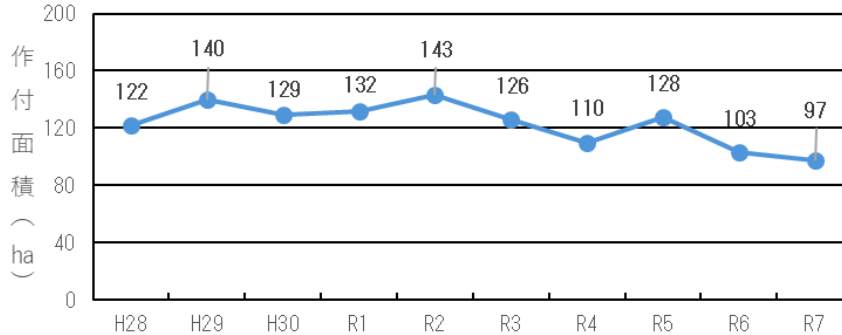


八幡平ポーク

(5) 淡雪こまち

- 鹿角地域のブランド米として作付けされている「淡雪こまち」は、鹿角地域の冷涼な気候により「低アミロース米」の特徴である「もちもち」、「ふっくら」とした食感が味わえると消費者や米卸業者等から高い評価を得ている。
- 直播栽培により低コスト生産と出穂期の調整を図り、更に特別栽培を基本とすることで、ブランドの訴求力を高めている。

淡雪こまち作付面積の推移

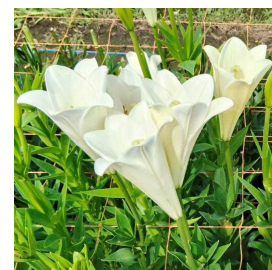
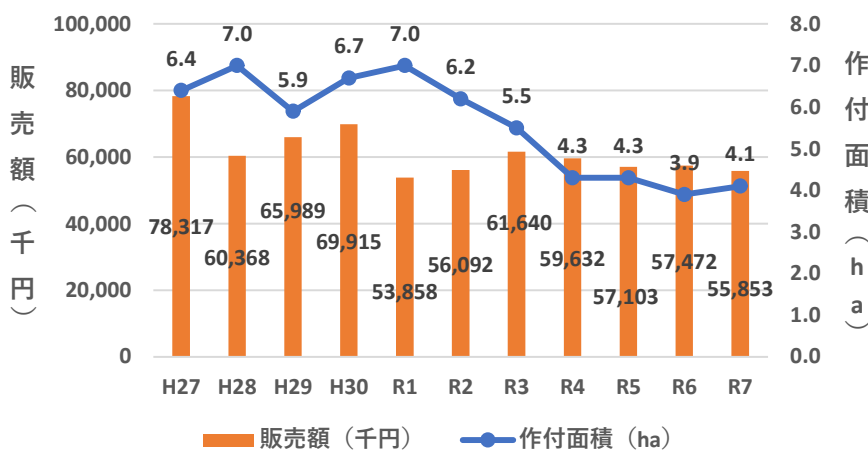


鹿角地域ブランド米  
「淡雪こまち」

(6) シンテッポウユリ

- 鹿角地域の気候に適した品種であり、現在、生産者は17戸で県内一の生産量となっており、「かづののユリ」として市場から高い評価を得ている。
- 種を播いてから1年で花を咲かせるユリで、1年目は秋彼岸頃に収穫期を迎え、その後は球根をそのままほ場で越冬させる。2年目にはお盆頃に収穫となる。
- R2年には秋田県オリジナル品種の無花粉シンテッポウユリ「あきた清ひめ」が市場デビューした。

シンテッポウユリの販売額と作付面積



「シンテッポウユリ」

## (7) 松館しぼり大根

- ・ 鹿角市八幡平松館集落に古くから栽培されている大根で、その「しぼり汁」は独特の風味と極めて強い辛味があるため、薬味やつけ汁等おろし専用の大根として利用され、地域を代表する特産物の一つとなっている。
- ・ 百年以上の歴史があり、鹿角地域においても栽培しているのは松館地区だけで、他の地区に作付けしても「しぼり大根」独特の辛さがでないと言われている。
- ・ 収穫は10月下旬～11月中旬で、普通の大根より短く、短円筒形で身がしっかりしている。
- ・ 品質バラツキの解消のため、県農業試験場がF1品種「あきたおにしぼり」を育成、高品質で安定した供給が可能になった。
- ・ 平成30年4月9日、地域の特性を生かした農産物を保護する農林水産省の「地理的表示(GI)保護制度」に鹿角市で初めて登録された。

生産戸数及び栽培面積の推移

区分	生産戸数 (戸)	栽培面積 (ha)	販売額 (千円)
H27	12	3.0	3,000
H30	6	2.0	2,000
R 1	5	1.8	1,800
R 2	5	1.7	1,074
R 3	4	0.95	947
R 4	4	0.95	1,139
R 5	4	0.95	800
R 6	4	1.4	1,000
R 7	3	0.9	637

J A かつの調べ



鹿角の伝統野菜 松館しぼり大根

### ※ 地理的表示(GI)保護制度

品質、社会的評価その他の確立した特性が産地と結び付いている産品について、その名称と産品を知的財産として保護する制度。

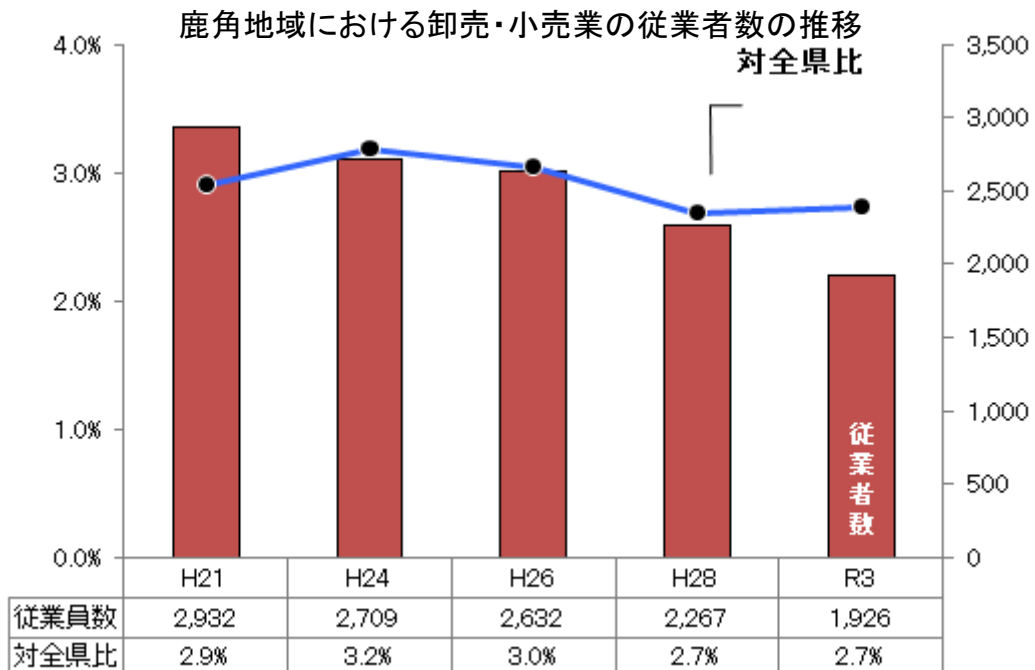
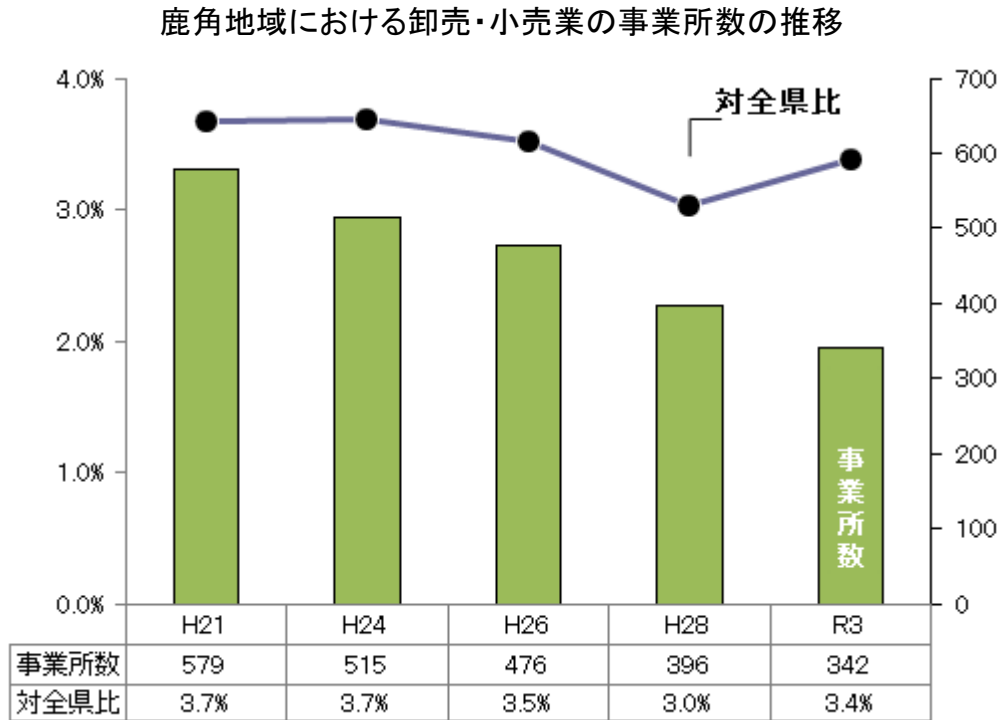
登録される産品には、品質や社会的評価などの「産品の特性」と、生産地の気候や風土、土壌などの「自然的な特性」や、伝統的な製法・文化などの「人的な特性」が結び付いていることが求められる。

## 5 商業

### ○ 鹿角地域の卸売・小売業の状況

管内の卸売・小売業の事業所数及び従業員数は減少傾向にある。

総務省「経済センサス」によると平成21年には事業所数が579箇所、従業者数は2,932人だったが、令和3年にはそれぞれ342箇所、1,926人に減少している。



資料) 総務省「経済センサス」

※各年の調査対象事業所の相違等のため、単純比較はできない。

## 6 工業

### ○ 工業立地の動向

- ・ 鹿角地域には、「鹿角工業団地」「鹿角市産業団地」（鹿角市）及び「三ツ森工業団地」（小坂町）の3つの工業団地を中心に、令和6年3月末現在、16社（17事業所）の県誘致企業が操業している。
- ・ 平成25年11月には、日本海沿岸東北自動車道の大館北インターチェンジ～小坂ジャンクション間が開通し、特に小坂町への交通アクセスが大きく向上した。

### 鹿角地域における県誘致企業一覧（令和6年3月末現在）（サービス業等を除く）

	誘致年度	所在地	企業名	業種（主要製品）
1	昭和42年度	鹿角市	昭和第一産業(株) 尾去沢工場	衣服（ユニフォーム、雨衣）
2	昭和45年度	〃	山口電機工業(株) 秋田工場	輸送用機械（自動車電装部品）
	平成28年度	〃	山口電機工業(株) 秋田第二工場	輸送用機械（自動車用イグニッションパーツ）
3	昭和46年度	〃	十和田精密工業(株) 秋田工場	金属製品（ATM、券売機等の板金加工）
4	昭和60年度	〃	鹿角コネクタ(株)	電気機械（通信機器用高周波同軸コネクタ）
5	〃	小坂町	(株)エドウィン小坂ジーンズ →H29.9 秋田ホーセ（株）小坂工場に吸収合併後、R3.8.31 工場閉鎖	衣服（ジーンズ、シャツ）
6	昭和61年度	〃	東邦工業(株) 秋田工場	プラスチック（プラスチック成形品）
7	昭和62年度	鹿角市	新化食品(株) 花輪工場	食料品・飲料等（フルーツ加工品）
8	〃	小坂町	(株)カミテ	金属製品（ラジオ全面パネル、バックモニターブラケット）
9	昭和63年度	鹿角市	アイデックス(株)	電気機械（コネクタ）
10	〃	小坂町	秋田リサイクル・アンド・ファインパック(株) →R4.4 小坂製錬（株）へ統合	非鉄金属リサイクル（リサイクル原料の前処理）
11	平成元年度	鹿角市	(株)佐藤ダンボール 鹿角工場 →R1.7 (株)北原紙器製作所秋田工場が事業承継	パルプ・紙（段ボール製品製造販売、包装資材）
12	平成3年度	小坂町	(株)日本ピージーエム 小坂工場	非鉄金属リサイクル（白金族金属回収）
13	平成16年度	鹿角市	(株)シーティーイー 鹿角事業所 →R3.3 事業停止	情報処理等（DTP制作）
14	平成19年度	小坂町	オートリサイクル秋田(株)	非鉄金属リサイクル（鉄スクラップ・非鉄製錬原料他）
15	〃	〃	エコシステムリサイクリング(株) 北日本工場	非鉄金属リサイクル（貴金属回収、製錬原料）
16	平成22年度	鹿角市	(株)十和田ソーラー →H29.10 十和田オーディオ(株)に事業譲渡	電気機械（太陽光モジュール、太陽光発電システム）

資料）工業振興の概要

### 鹿角地域の工業団地一覧（令和6年3月末現在）

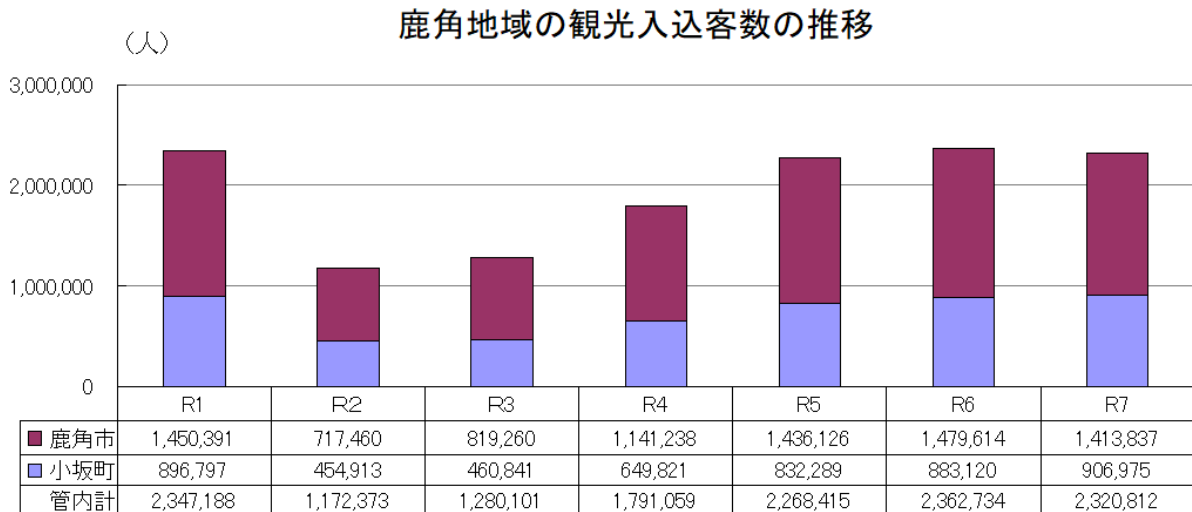
	鹿角工業団地	鹿角市産業団地	三ツ森工業団地
造成主体	秋田県	鹿角市	小坂町
団地面積	21.8 ㍍ <sup>2</sup>	2.4 ㍍ <sup>2</sup>	3.0 ㍍ <sup>2</sup>
分譲済面積	14.8 ㍍ <sup>2</sup>	2.3 ㍍ <sup>2</sup>	2.9 ㍍ <sup>2</sup>
未分譲面積	3.5 ㍍ <sup>2</sup>	0 ㍍ <sup>2</sup>	0 ㍍ <sup>2</sup>
立地企業数	4	2	5

資料）工業振興の概要

## 7 観光

### (1) 観光入込客数

- 鹿角管内における観光入込客数は、平成28年以降、約230万人で推移していたが、令和2年以降は「新型コロナウイルス感染症」の影響で大きく減少し、約120万人で推移していた。令和4年からは回復傾向にあり、令和5年は新型コロナが5類移行し、コロナ以前の水準に戻っている。令和7年は小坂町の客数が増えたものの、大雨の影響により花輪ばやし（全2日）が1日中止になったこともあり、鹿角市の客数が減り、全体的に減少している。



資料) 鹿角地域振興局総務企画部調べ (各年の調査期間は、1月1日から12月31日まで(暦年))

### 主な観光施設別観光客数

(単位: 人)

【鹿角市】	R6	R7	【小坂町】	R6	R7
道の駅かづの	263,549	270,904	康楽館	30,854	29,064
八幡平ビジターセンター	30,598	27,509	小坂鉱山事務所	17,441	14,218
史跡尾去沢鉱山	28,865	46,489	小坂鉄道レールパーク	10,631	8,393
大湯ストーンサークル館	23,693	22,241			

資料) 県観光戦略課「秋田県観光統計」

※R7年は「秋田県観光統計」に未掲載のため、鹿角地域振興局総務企画部調べ

### 主な行祭事別観光客数

(単位: 人)

【鹿角市】	R6	R7	【小坂町】	R6	R7
花輪ばやし	198,000	105,000	アカシアまつり	16,000	16,000
花輪ねふた	25,000	20,000	小坂七夕まつり	1,500	1,500
毛馬内盆踊	14,000	13,000	クリスマスマーケット	7,000	7,500
毛馬内月山神社祭典	16,000	18,000			
大日堂舞楽	5,000	5,000			

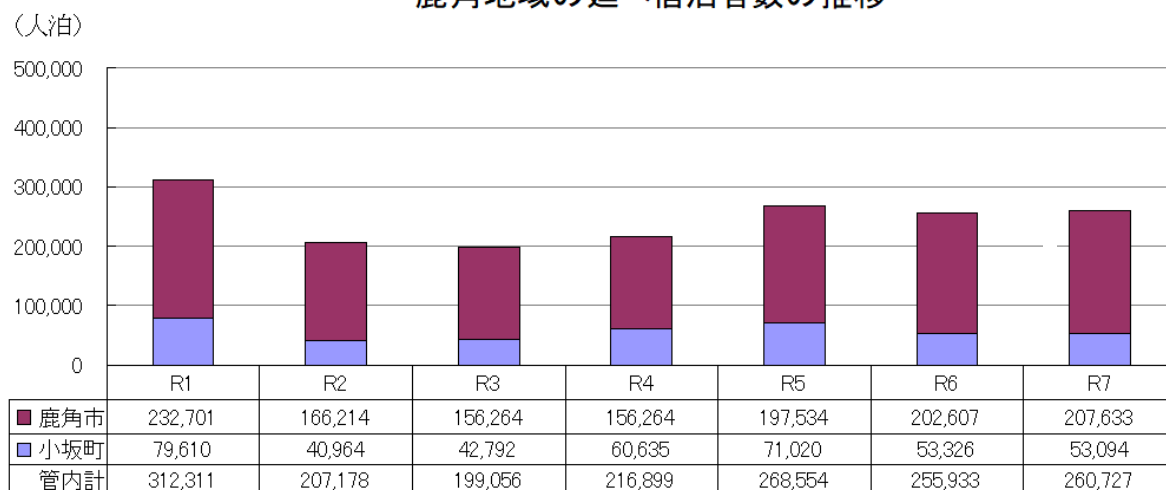
資料) 県観光戦略課「秋田県観光統計」

※R7年は「秋田県観光統計」に未掲載のため、鹿角地域振興局総務企画部調べ

## (2) 宿泊者数

- 鹿角管内における宿泊者数は、平成 28 年以降、約 30 万人で推移していたが、令和 2 年以降は、約 20 万人で推移している。令和 4 年に関しては、県で実施した宿泊キャンペーンの効果もあり、回復傾向にある。令和 5 年は新型コロナ 5 類移行の影響などから、客数が増加している。令和 7 年は小坂町の入込が減ったものの、鹿角市の入込が増え、全体的に増加している。

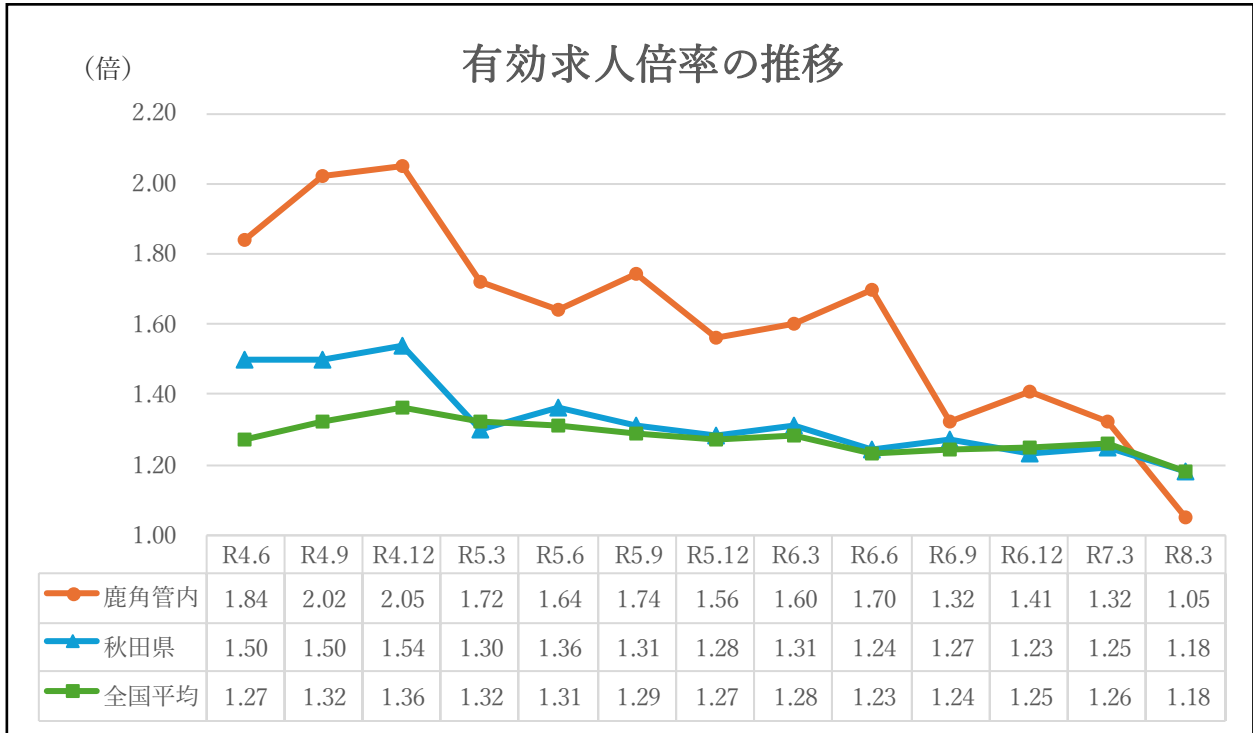
### 鹿角地域の延べ宿泊者数の推移



資料) 鹿角地域振興局総務企画部調べ (各年の調査期間は、1月1日から12月31日まで (暦年))

## 8 雇用

- 管内の有効求人倍率（常用）は、近年高水準で推移していたが、令和8年3月は県や全国平均より低い値となった。
- 令和8年3月の有効求人倍率 1.05 倍は、能代、大館、秋田、鷹巣に続いて県内で5番目に高い値となっている。



資料) 管内：鹿角公共職業安定所 労働市場の動向 秋田県及び全国：秋田労働局 秋田県内の雇用情勢

- 鹿角管内の令和8年3月新規高卒者の就職動向は、令和8年3月末時点で就職希望者45名全員が内定している。
- 就職内定者45名のうち、県内への就職内定者は30名であり、8名の減少となった。

### 令和8年3月末における管内新規高卒者の就職動向

		就職希望者数(人)			内定者数(人)			県内就職率	県内就職内定・決定率	県外就職内定・決定率
		県内	県外	計	県内	県外	計			
ハローワーク 鹿角管内	R8.3卒	30	15	45	30	15	45	66.67%	100.0%	100.0%
	R7.3卒	38	7	45	38	7	45	84.4%	100.0%	100.0%
全県	R8.3卒	1113	402	1515	1103	402	1505	73.3%	73.3%	100.0%
	R7.3卒	1,235	361	1,596	1,225	361	1,586	77.2%	99.2%	100.0%

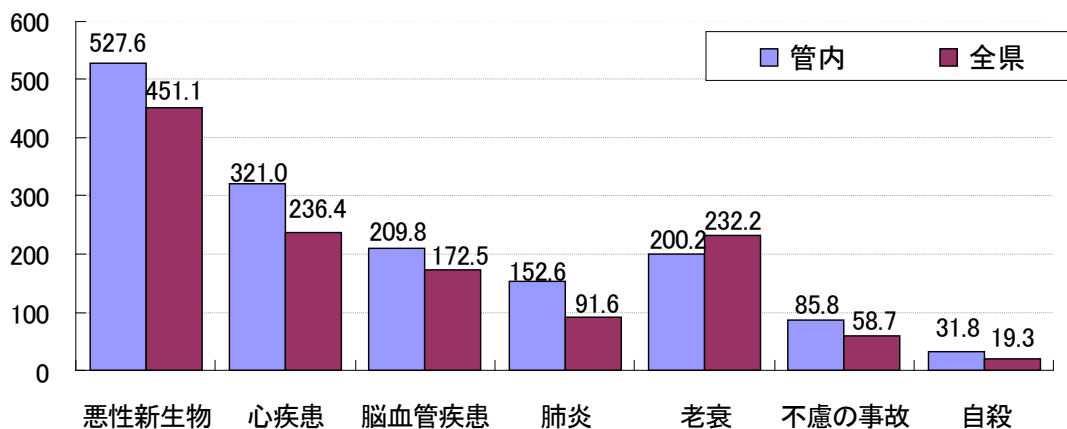
資料) 鹿角公共職業安定所 新規高校卒業者職業紹介状況より鹿角地域振興局総務企画部作成

## 9 保健・医療・福祉

### (1) 死亡率・死因別死亡率

- 管内の死亡率（人口10万対）は2,396.5であり、全県の1,917.5と比較して高い。
- 死因別に見ると、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順となっており、全県と比較すると、心疾患と脳血管疾患、肺炎の値が著しく高くなっている。

死因別死亡率（人口10万対）

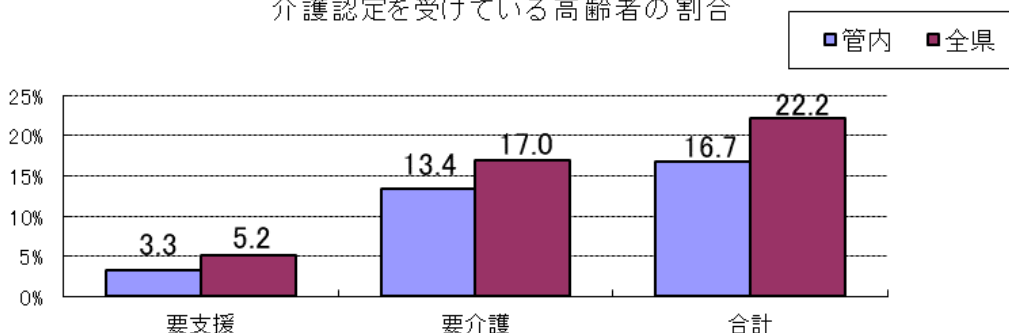


「令和5年秋田県衛生統計年鑑」を基に鹿角地域振興局福祉環境部作成

### (2) 介護認定の状況

- 介護保険の要支援または要介護の認定を受けている高齢者（65歳以上）は2,344人で、管内の高齢者に占める割合は16.7%となっている。

介護認定を受けている高齢者の割合



資料）県長寿社会課調べ要支援者数・要介護者数（R7.3.31現在）及び県調査統計課「令和6年秋田県年齢別人口流動調査結果

※小数点以下第四位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

## (3) 医療施設の状況

- 管内医療施設は、病院 3 施設、一般診療所 19 施設、歯科診療所 12 施設となっている。病床数は、病院と診療所を合わせ、373 床である。

区 分	病 院		一般診療所		歯科診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数
管 内	3	352	19	21	12
全 県	64	13,453	792	538	397

資料) 鹿角地域振興局福祉環境部調べ (R7.3.31 現在)

## (4) 保健福祉施設の状況

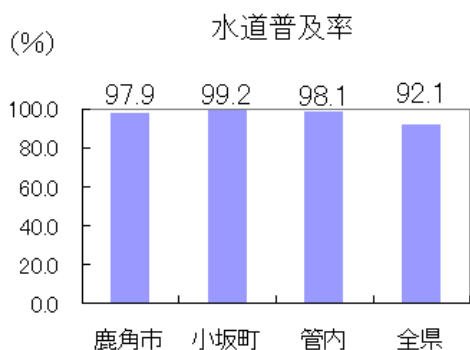
施設等の種類	鹿角市	小坂町	管内計
老人福祉施設			
養護老人ホーム	1	0	1
軽費老人ホーム	1	1	2
老人福祉センター	1	1	2
介護保険施設			
介護老人福祉施設 (特養)	6	2	8
介護老人保健施設 (老健)	4	0	4
介護療養型医療施設	0	0	0
介護医療院	2	0	2
介護保険施設			
地域包括支援センター	4	1	5
通所介護	4	1	5
訪問介護	7	0	7
短期入所生活介護	9	4	13
居宅介護支援事業所	8	3	11
地域密着型サービス事業所			
小規模多機能型居宅介護	2	0	2
認知症対応型通所介護	3	1	4
認知症対応型共同生活介護	7	1	8
有料老人ホーム	2	1	3
障害者総合支援法指定事業所			
介護給付	30	11	41
訓練等給付	13	5	18
相談支援事業所	7	11	18
児童福祉施設			
児童発達支援	2	0	2
放課後等デイサービス	1	0	1
保育所等訪問支援	1	0	1
福祉型障害児入所施設	1	0	1
母子生活支援施設	1	0	1
児童館 (法対象)	1	1	2
地域子育て支援センター	1	0	1

資料) 鹿角地域振興局福祉環境部調べ (R7.4.1 現在)

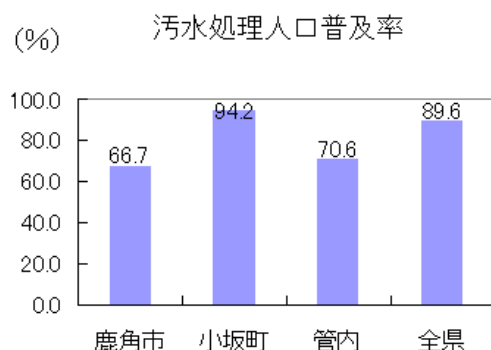
## 10 生活・環境

### (1) 水道・下水道

- 管内の水道施設は、米代川水系の表流水や取水等を水源として整備されており、水道普及率は98.1%と、全県平均の92.2%を上回っている。
- 管内の公共下水道、農業集落排水等による汚水処理人口普及率は、70.6%となっており、全県平均の89.6%を下回っている。



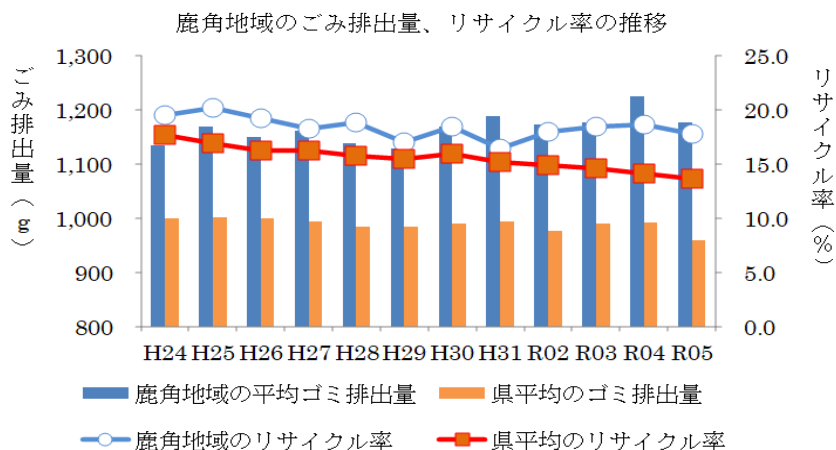
資料) R5水道施設現況調査(R6.3.31現在)



資料) 2024あぎたの下水道(R6.3.31現在)

### (2) 一般廃棄物

- 家庭や事業所から排出される一般廃棄物は、各市町の処理計画に基づき焼却処理、最終処分等が行われており、3R（リデュース<抑制>、リユース<再使用>、リサイクル<再生利用>）にも取り組まれている。
- 鹿角地域における1人1日あたりのごみ排出量は、1,177グラムであり、県平均の959グラムを上回っている。
- 排出されたゴミのリサイクル率は、17.8%となっており、県平均の13.6%を上回っている。

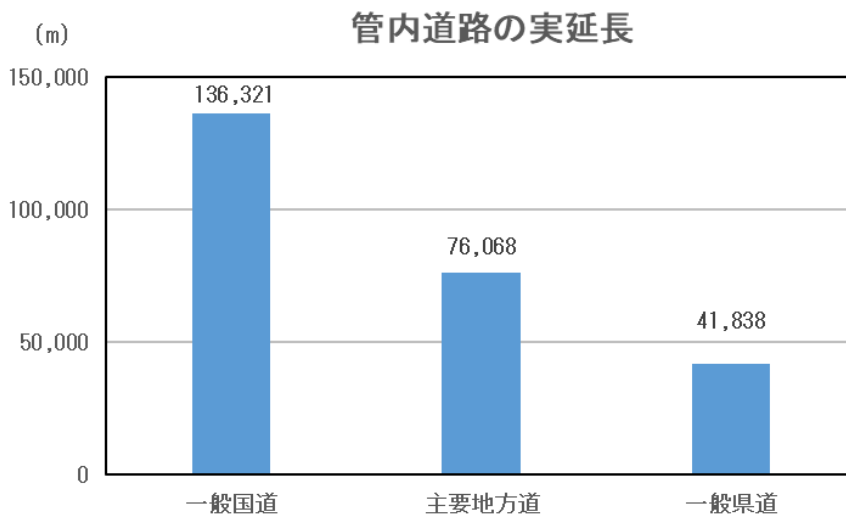


資料) 一般廃棄物処理実態調査(環境省)より推計

## 11 道路・河川

### (1) 道路

- 管内の道路は、国道、県道を合わせて14路線、実延長254,227mとなっている。



	路線名	起点	終点	管内実延長 (m)
国道	103号	青森県青森市	秋田県大館市	39,321
	104号	青森県八戸市	秋田県大館市	10,670
	282号	岩手県盛岡市	青森県平川市	44,420
	341号	秋田県鹿角市	秋田県由利本荘市	25,215
	454号	青森県八戸市	青森県大鰐町	16,695
			計	136,321

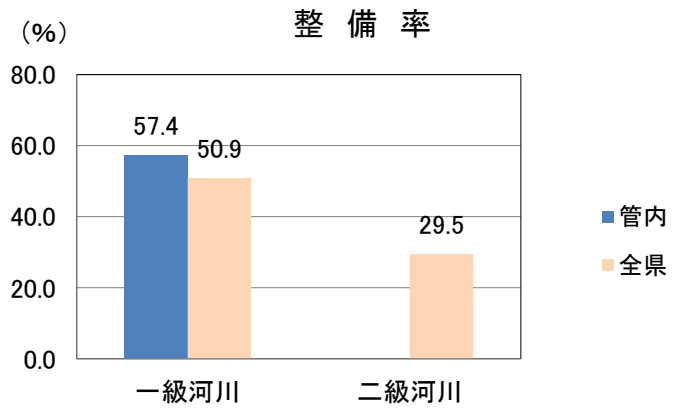
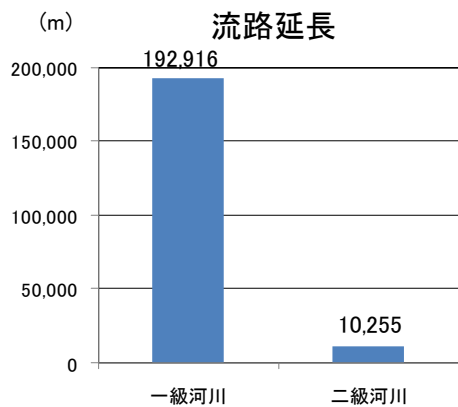
県道路課調 R6.3.31現在

	路線名	管内実延長 (m)	規格改良済
主要地方道	大館十和田湖線	27,940	90.0%
	比内大葛鹿角線	7,431	98.9%
	大更八幡平線	15,961	100.0%
	十二所花輪大湯線	24,736	80.8%
	小計	76,068	89.9%
一般県道	田代平大清水線	9,122	100.0%
	田山花輪線	12,906	25.4%
	根瀬尾去沢線	13,599	97.2%
	雪沢十和田毛馬内線	5,298	8.5%
	八幡平公園線	913	100.0%
	小計	41,838	64.5%
	合計	117,906	80.9%

県道路課調 R6.3.31現在

(2) 河川

- 管内を流れる河川は、一級河川米代川水系 22 河川と二級河川十和田湖の計 23 河川で、総延長は 203,171m となっている。



県河川砂防課 (R7.3.31 現在)

※二級河川 (十和田湖) は築堤不要であり、整備率としての数値無し

(3) 土砂災害危険箇所等整備状況


管内の土砂災害危険箇所 (土石流・急傾斜地崩壊対策・地すべり箇所) は 203 箇所あり、そのうち概成・着手済み箇所は 79 箇所となっている。

		鹿角市	小坂町	計
危険箇所	土石流箇所	65	38	103
	急傾斜地崩壊箇所	71	15	86
	地すべり箇所	11	3	14
概成・着手済	土石流箇所	17	13	30
	急傾斜地崩壊箇所	38	8	46
	地すべり箇所	2	1	3

鹿角地域振興局建設部調べ (R7.3.31 現在)

※土石流・急傾斜地崩壊箇所についてはランク I を計上  
(ランク I : 保全家 5 戸以上等の溪流)

(市の木) ナナカマド  
(市の花) ベニヤマザクラ  
(市の鳥) 声良鶏

	〒018-5292 花輪字荒田4番地1 ☎ (0186) 30-0203 F A X (0186) 30-1122 ウェブサイト https://www.city.kazuno.lg.jp/ Eメール info@city.kazuno.lg.jp			主な地域指定 過疎 辺地 豪雪 特別豪雪 振興山村 地方拠点 促進区域 特定農山村	一部事務組合加入事業 議員公務災害 ごみ処理 非常勤公務災害 火葬場 退職手当 し尿処理 常備消防 その他	公 営 企 業 上水道 下水道
	類型 I-1 コード番号 052094				基本構想 令3~令12年度 基本計画 令3~令7年度	

<概 要>

(1) 面 積 (県内8位)

総面積 (令7.7.1)	耕地 (令7.2.29)	宅地 (令6.1.1)	山林 (令6.3.31)
707.52km <sup>2</sup>	60.20km <sup>2</sup>	10.84km <sup>2</sup>	574.38km <sup>2</sup>

(2) 人 口 (県内10位)

平22年国調	平27年国調	令2年国調	令7年1.1住基
34,473	32,038	29,088	27,069

人口増減率 (H27-R2)	高齢化率 令7.7.1	44.5%	人口密度 38.26 人/km <sup>2</sup>
-------------------	----------------	-------	------------------------------------

(3) 世 帯 数

平22年国調	平27年国調	令2年国調	令7年1.1住基
11,831	11,508	10,978	12,429

(4) 選挙人名簿登録者数 (令7.10.18現在)

男	女	計
11,163	12,375	23,538

(5) 沿 革

昭47.4.1	合体(市制施行) 花輪町、十和田町、尾去沢町、八幡平村
---------	--------------------------------

<組 織>

(1) 議 会 (令7.10.1現在)

議長	こ だま えつ ろう 児 玉 悦 朗	議 員 数	18人
副議長	なり たつ てつ お 成 田 哲 男	条例定数	18人
議員任期	令11.3.8	党派別内訳	公明1 幸福実現1 無所属16

(2) 二 役 (令7.10.1現在)

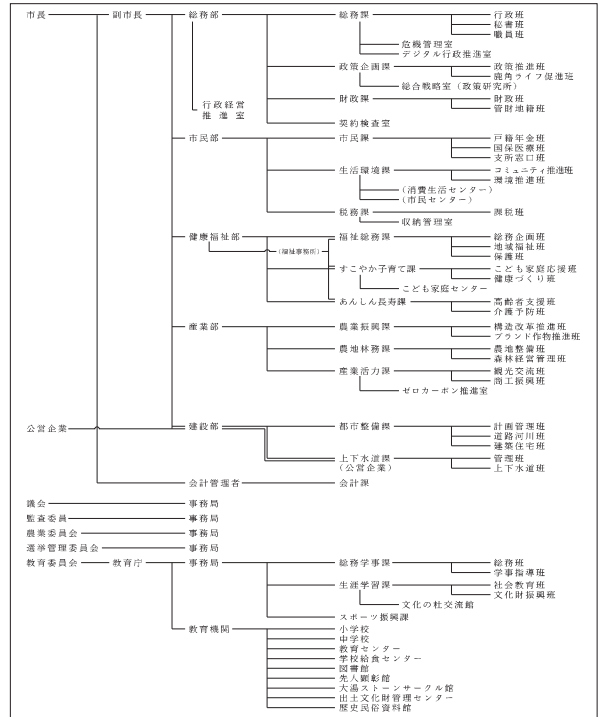
市長	きさ もと しん じ 笹 本 真 司 (1期~令11.4.26)	副市長	ます や なお み 舂 屋 修 美
----	--	-----	----------------------

<その他・PRキャラクター>

- 友好・姉妹都市等 国内
  - ・ ショプロン市 (ハンガリー共和国) ・ 武威市涼州区 (中国)
- 連携交流都市
  - ・ 東京都葛飾区
- 名所・旧跡
  - ・ 世界文化遺産および特別史跡「大湯環状列石」
  - ・ 史跡尾去沢鉱山・湯瀬渓谷・錦木塚
  - ・ 鹿角観光ふるさと館あんたらあ (道の駅かづの)
  - ・ 大湯滝めぐり・中滝ふるさと学舎
  - ・ 十和田八幡平国立公園・大日堂
  - ・ 東山レクリエーションエリア・湯の駅おおゆ (道の駅おおゆ)



<行政機構>



<産業・経済>

(1) 産業構造

区 分	総生産額 (令4年度)		就業人口 (令2年国調)		
	実額(百万円)	割合(%)	実数(人)	割合(%)	
第一次	農 業	2,831	3.1	1,776	12.4
	林 業	547	0.6		
	水産業	0	0.0		
	計	3,378	3.7		
第二次	鉱 業	537	0.6	3,840	26.7
	製造業	11,870	13.2		
	建設業	9,125	10.1		
	計	21,532	23.9		
第三次	65,303	72.4	8,718	60.7	
分類不能			37	0.2	
輸入品に課される税・関税等	-448				
合 計	89,765	100.0	14,371	100.0	

(2) 一人当たり分配所得 (令4年度)


一人当たり分配所得	県内 13 位	2,446 千円
-----------	---------	----------

(3) 主要農産物・名産・特産品

米(淡雪こまち)・りんご(ふじ・秋田紅あかり他)  
 北限の桃・かづの牛(日本短角種)・八幡平ポーク  
 松館しばり大根・秋田フキ・葉たばこ・きゅうり・トマト  
 ネギ・枝豆・アスパラガス・シンテッポウユリ・きりたんぼ  
 そば・ホルモン・啓翁桜

- (祭・行事)
- ・ ユネスコ無形文化遺産「大日堂舞楽」(1月2日)
  - ・ ユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事(花輪ばやし)」(8月19日~20日)
  - ・ ユネスコ無形文化遺産「(風流踊)毛馬内の盆踊」(8月21日~23日)
  - ・ 大湯大太鼓まつり(8月15日)

(町の木) ベニヤマザクラ  
(町の花) アカシア  
(町の魚) ヒメマス

	〒017-0292 小坂字上谷地41番地1 ☎ (0186) 29-3901 F A X (0186) 29-5481 ウェブサイト https://www.town.kosaka.akita.jp/ Eメール soumu@town.kosaka.akita.jp			主な地域指定 過疎 辺地 豪雪 振興山村 地方拠点 促進区域 特定農山村	一部事務組合加入事業 議員公務災害 火葬場 非常勤公務災害 常備消防 退職手当 し尿処理 ごみ処理 電算システム その他	公 営 企 業 水道 下水道 介護サービス
	類型 I-2 コード番号 053031	基本構想 令3～令12年度 基本計画 令3～令7年度				

<概 要>

(1) 面 積 (県内20位)

総面積 (令7.7.1)	耕地 (令7.2.29)	宅地 (令6.1.1)	山林 (令6.3.31)
201.70km <sup>2</sup>	8.36km <sup>2</sup>	2.57km <sup>2</sup>	146.23km <sup>2</sup>

(2) 人 口 (県内20位)

平22年国調	平27年国調	令2年国調	令7年1.1住基
6,054	5,339	4,780	4,421
人口増減率 (H27-R2)	△10.5%	高齢化率 令7.7.1	47.1%
		人口密度	21.92 人/km <sup>2</sup>

(3) 世 帯 数

平22年国調	平27年国調	令2年国調	令7年1.1住基
2,348	2,168	2,043	2,206

(4) 選挙人名簿登録者数 (令7.10.18現在)

男	女	計
1,801	2,123	3,924

(5) 沿 革

昭30.4.1	合体	七滝村、小坂町
---------	----	---------

<組 織>

(1) 議 会 (令7.10.1現在)

議長	めときしげお 目時重雄	議 員 数	条例定数	10人
副議長	くまがいの 熊谷 聡	議 定 数		
議員期	令10.3.31	党派別 内 訳	公1 共1 無所属8	

(2) 二 役 (令7.10.1現在)


町 長	ほそごえみつる 細越 満	副町長	ごとうふみお 後藤 富美夫
	(5期～令11.4.11)		

<その他・PRキャラクター>

● 名所・旧跡

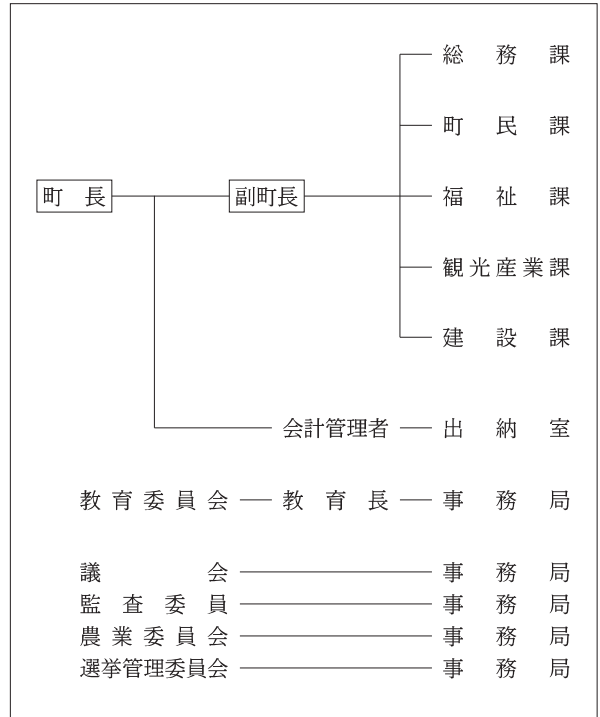
- ・十和田湖・小坂鉱山事務所・康楽館・七滝
- ・紫明亭展望台・発荷峠展望台・笹森展望所・滝ノ沢展望台
- ・樹海ライン・天使館・中小路の館
- ・小坂鉄道レールパーク・小坂町赤煉瓦にぎわい館
- ・郷土館

● PRキャラクター



(かぶきん)

<行政機構>



<産業・経済>

(1) 産業構造

区 分	総生産額 (令4年度)		就業人口 (令2年国調)		
	実額(百万円)	割合(%)	実数(人)	割合(%)	
第一次	農 業	1,954	4.6	167	7.6
	林 業	109	0.3		
	水産業	3	0.0		
	計	2,066	4.9		
第二次	鉱 業	0	0.0	696	31.5
	製造業	24,568	58.2		
	建設業	3,716	8.8		
	計	28,284	67.0		
第三次	11,882	28.1	1,338	60.7	
分類不能			5	0.2	
輸入品に課される税・関税等	-210				
合 計	42,022	100.0	2,206	100.0	

(2) 一人当たり分配所得 (令4年度)

一人当たり分配所得	県内 2 位	4,470 千円
-----------	--------	----------

(3) 主要農産物・名産・特産品

桃豚・米・ぶどう・十和田湖ひめます 小坂七滝ワイン・アカシア蜂蜜・竹の子 菜々の油
---

(祭・行事) ・十和田湖冬物語(冬季)・ヒメマス稚魚の放流(6月)・アカシアまつり(6月)・十和田湖山開き(6月)  
 ・十和田湖湖水まつり(7月)・康楽館歌舞伎大芝居・小坂七夕祭(8月)・小坂・鉄道まつり(10月)  
 ・クリスマスマーケット in 小坂(12月)

### 13 教育

- 管内の学校数は、小学校7校、中学校5校となっている。
- 児童数は、小学校児童数1,029人(63人減)、中学校生徒数654人(18人減)であり、昨年度に比べ、合わせて81人の減となっている。(令和8年4月1日現在)
- 児童数の減少に伴い、鹿角市内小学校(尾去沢小)では、昨年引き続き複式学級が設置された。今後も管内の小学校では、児童数・学級数の減少が予想され、新たな複式学級の設置も考えられる。
- 令和8年度十和田小学校4年生が在籍数36人(R8.3転入生1人あり)になったことにより学級数が1増となった。(令和7年度まで35人1学級)
- 小坂小学校・小坂中学校は、隣接型小中一貫教育校である。  
中学校長が小学校長を兼任し、小学校の教頭、中学校の教頭のほか、統括教頭を1名置き、9年間を見通した小中一貫教育カリキュラムを実施している。
- 高等学校は、鹿角高校が開校して3年目となる。生徒数は485名となっている。  
(令和8年4月1日現在)

#### ●管内小学校数、児童数

	学校数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援 学級数	児童数 計
鹿角市	6	138	138	140	166	149	176	17	907
小坂町	1	23	19	19	23	18	20	3	122
管内計	7	161	157	159	189	167	196	20	1,029

資料) 県教育庁北教育事務所鹿角出張所調べ (R8.4.1現在)

#### ●管内中学校数、生徒数

	学校数	1年	2年	3年	特別支援 学級数	生徒数 計
鹿角市	4	190	182	206	8	578
小坂町	1	27	22	27	1	76
管内計	5	217	204	233	9	654

資料) 県教育庁北教育事務所鹿角出張所調べ (R8.4.1現在)

#### ●鹿角高等学校生徒数

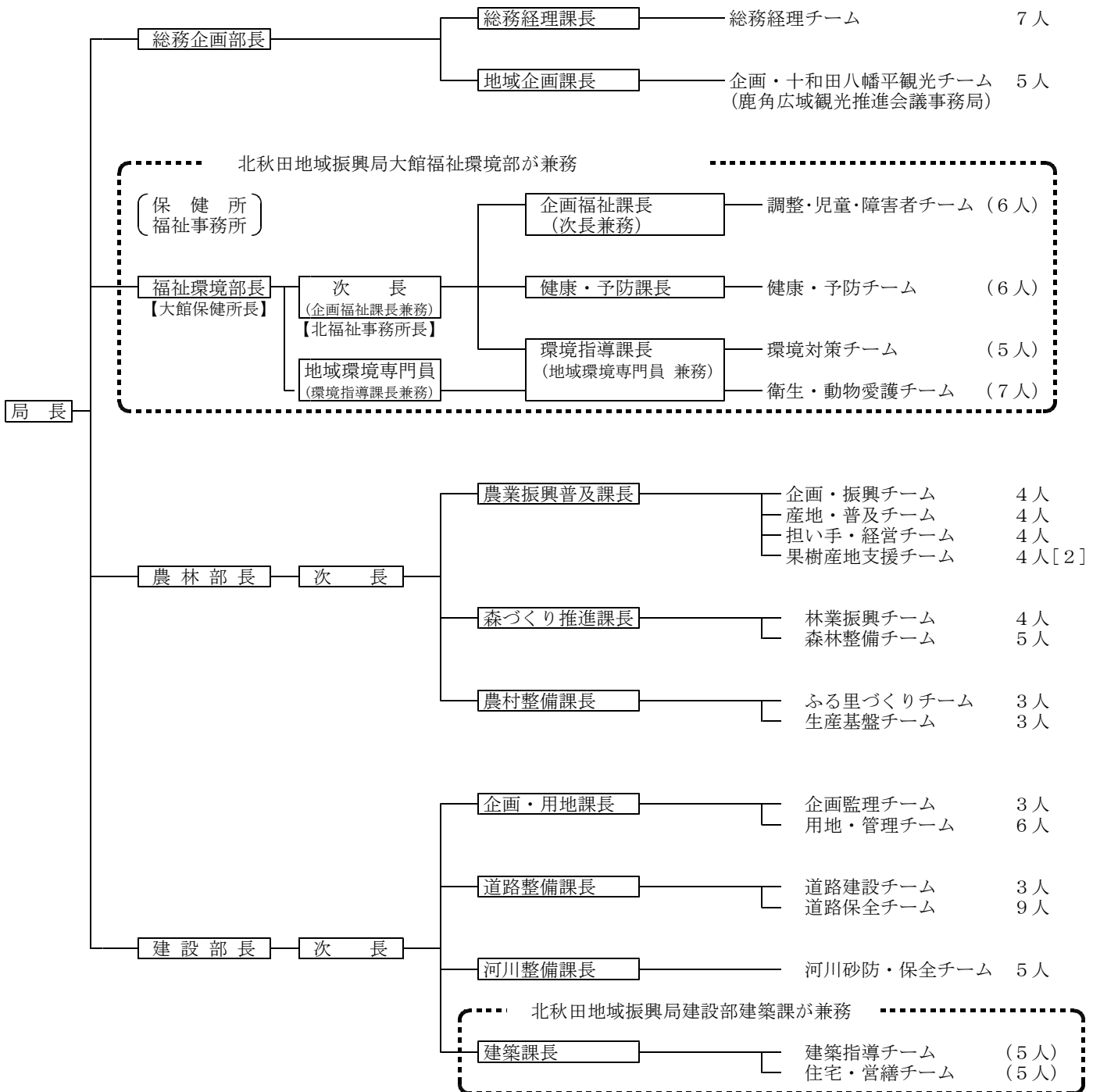
学科名	1年	2年	3年	計
普通科	148	150	132	430
産業工学科	16	16	23	55
計	164	166	155	485

資料) 県教育庁北教育事務所鹿角出張所調べ (R8.4.1現在)

## Ⅱ 鹿角地域振興局の概要

【令和8年度鹿角地域振興局組織図】

(令和8年4月1日現在)



- 【鹿角管内その他の公所】
- ・総合県税事務所鹿角支所
  - ・食肉衛生検査所
  - ・産業労働部クリーンエネルギー産業振興課  
金属リサイクルチーム (エコノセンター)
  - ・秋田県教育庁北教育事務所鹿角出張所
  - ・秋田県鹿角警察署

- ※ ( ) 内は北秋田地域振興局からの兼務職員
- ※ [ ] 内は果樹試験場からの兼務職員
- ※ 再任用職員を含む
- ※ 非常勤職員を除く

# 令和8年度鹿角地域振興局の重点施策推進方針

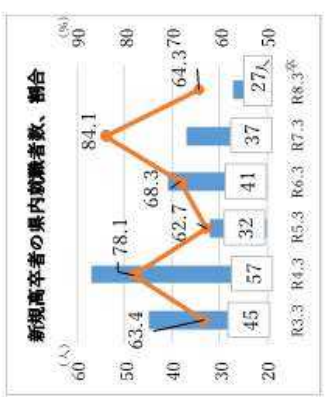
## 【目指す姿Ⅰ】若者の地元定着と人材確保により、地域が活性化する鹿角

### (現状)

- ・地元定着の意識を醸成するため、中高生向け企業説明会を実施
- ・4月以降全県平均を下回っていた有効求人倍率が再び上昇傾向
- ・人口減少や少子高齢化に対応した地域産業を支える人材の確保
- ・県内への就職を希望する生徒及び割合が減少傾向に転じている

### (課題)

- ・働き手と企業をつなぐ、マッチング機会の充実
- ・企業と学校との顔つなぎの場は効果的だとの声



## プロジェクトⅠ「若者の地元定着と企業支援」

- 取組 1 若者の地元定着と持続可能な企業支援**
- ・【拡】鹿角で学ぶ秋田の自然エネルギー講座
  - ・企業と学校との顔つなぎセミナー開催
  - ・建設産業の小中高生向け職場体験

## 取組 2 管外からの人材確保の支援

- ・【新】地域資源を活かした関係人口の創出
- ・【拡】WEB求人等情報発信セミナー開催



秋田の自然エネルギー講座

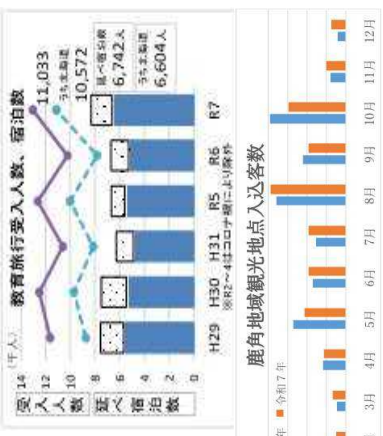
## 【目指す姿Ⅱ】十和田八幡平と世界遺産を核とした広域連携により、交流人口が拡大する鹿角

### (現状)

- ・他振興局や他県と広域連携し、誘客イベントを実施
- ・北海道からの教育旅行がコロナ禍前の水準まで回復

### (課題)

- ・入込客数は、コロナ禍前と比較して冬は増加、夏秋は未回復
- ・縄文遺跡の来訪者に占める県内在住者の割合が低い
- ・旅費高騰や少子化による教育旅行先の変更が懸念
- ・遺跡ガイドの人材確保・育成
- ・安定的な教育旅行の誘致



## プロジェクトⅡ「県内外との連携による誘客拡大」

### 取組 1 十和田八幡平を核とする誘客促進

- ・【新】五感に訴える鹿角の魅力発信の展開
- ・他県と連携した夏秋周遊観光キャンペーン実施

### 取組 2 世界遺産をフックとした広域連携による誘客促進

- ・【新】世界遺産登録5周年「世界文化遺産フェア」開催
- ・【拡】県内外への世界遺産PR（中央・県南地区でも実施）

### 取組 3 「SDGsで学ぶ鹿角」教育旅行の誘致

- ・教育旅行誘致キャラバン実施、パンフレット・PRブック更新
- ・他県連携による誘客促進



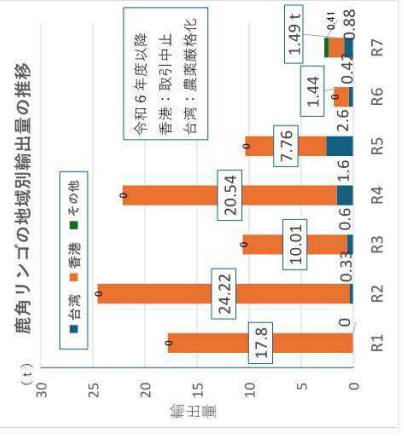
## 【目指す姿Ⅲ】地域資源の活用と高収益作物の生産拡大による稼げる鹿角

### (現状)

- ・農林従事者の高齢化と減少が加速化する中、ほ場整備により省力化、低コスト化と高収益作物の導入を推進
- ・リンゴの輸出量は、年次格差が大、かつの牛は地理的表示制度（GI）に登録（R7.1）

### (課題)

- ・担い手の確保とネギやバレイショなど高収益作物の生産性向上
- ・リンゴの輸出体制の構築とかつ牛のブランド力強化
- ・鹿角地域の移住定着に向けた農林業希望者への支援
- ・大区域ほ場整備後の営農と要望地区への計画策定の支援
- ・農畜産物の収益力強化



## プロジェクトⅢ「農林業の担い手確保と地域資源を活用した鹿角の農林業の推進」

### 取組 1 鹿角に活力を与える農林業の担い手の確保

- ・【拡】鹿角市の「移住ツアー」と連携した県外からの担い手の確保

### 取組 2 ほ場整備を契機とした高収益作物の推進

- ・【新】「毛馬内北部地区」における高収益作物の定着
- ・【拡】園芸メカ団地「未広地区」のネギの生産拡大

### 取組 3 鹿角が持つ地域資源のブランド力の向上

- ・【拡】リンゴ「秋田紅あかり」の輸出拡大に向けた支援
- ・【拡】かつ牛のブランド力向上と高付加価値化による産地育成



台湾での販促活動

# 令和8年度鹿角地域振興局各部の重点事項

## 総務企画部

県政運営の指針となる「秋田県総合計画 ～秋田再興への第一歩～ (2026-2029)」を着実に推進し、世界文化遺産と十和田八幡平国立公園等を前面に打ち出した広域的な観光誘客や交流人口の拡大を図るとともに、鹿角地域を担う人材の確保・定着を促進させるため地元企業等と連携した事業等に注力し、地域活性化に取り組む。

### 1 若者の地元定着と人材確保により地域が活性化する鹿角

地域産業を支える人材確保支援として、若者の地元定着に向けた取組を推進し、地元企業への就職とふるさと定着への意識醸成を図る。また、管外からの人材確保の支援を行い、企業の活性化を図る。

#### (1) 若者の地元定着と持続可能な企業支援

- ・中高生を対象にした地元企業説明会・交流会  
管内の中学生徒や高校2年生を対象とした説明会、  
若手社員の早期離職防止に向けた交流会を開催する。
- ・学校と企業の顔つなぎ・相談会（北秋田局連携）  
高校進路指導担当者と企業による顔つなぎミーティングを実施する。
- ・鹿角で学ぶ秋田の自然エネルギー講座  
地熱・水力・風力発電所の見学ツアーを実施し、将来の職業選択肢の意識醸成を図る。
- ・女性活躍推進セミナー  
職場における意識改革や事例紹介を通じ、誰もが活躍できる社会を目指す。



【学校と企業の顔つなぎミーティング】

#### (2) 管外からの人材確保の支援

- ・地域資源を活かした関係人口の創出  
「花輪ばやし体験ツアー」を開催し、県内外の大学生等が地域と関わるきっかけを作る。
- ・WEB 求人・情報発信力の強化  
WEB や SNS を活用した情報発信手法セミナーを開催し、企業の採用力を向上させる。
- ・高度人材・大学等との連携強化  
東北能開秋田校等との意見交換会を行い、大卒者等の確保に向けたマッチングを推進する。

### 2 十和田八幡平と世界遺産を核とした広域連携により、交流人口が拡大する鹿角

指定90周年(十和田八甲田地域)・70周年(八幡平地域)を迎える「十和田八幡平国立公園」の認知度を高めるほか、世界文化遺産「大湯環状列石」の広域連携による発信の強化や、教育旅行へのSDGs視点の導入により、来訪者の拡大を図る。

#### (1) 十和田八幡平を核とする誘客促進

- ・十和田湖西湖畔への観光誘客

国立公園 90 周年を機に、静寂や大自然を売りにした「(仮)リトリートの地」として、SNS 広告や Google ビジネスプロフィール(**GBP**)を活用した誘客導線を構築する。

- ・ドラゴンアイ関連の周遊促進

岩手側からの「ピストン観光」を打破するため、山頂での観光 PR や SNS ショート動画による秋田側への誘導（後生掛温泉・蒸ノ湯等）を強化する。

- ・二次アクセス整備と利便性向上

観光乗合タクシー「旅タク」の利用促進に向け、予約プラットフォームの導入や料金設定の検討を行う。

- ・デジタルスタンプラリーによる周遊

岩手県盛岡広域振興局と連携した観光キャンペーンを実施し、八幡平を挟んだ広域の観光客の周遊を図る。

- ・インバウンド対応の強化

制作した PR 動画を多言語化(英語・繁体字)し、SNS 広告を通じて海外・在日外国人への認知度を高める。

- ・ロコミサイト・GBP の活用支援

GBP 活用セミナーを開催し、地域全体で情報を底上げすることで、通過点から目的地への転換を図る。



【岩手県と連携したデジタルスタンプラリー】

## (2) 世界遺産をフックとした広域連携による誘客促進

- ・登録 5 周年記念事業の展開

大宮駅での出前講座等を実施し、首都圏の高関心層へダイレクトにアプローチする。

- ・3 県・広域連携スタンプラリー

秋田・岩手・青森の縄文遺跡群を巡るデジタルスタンプラリーを継続し、ファンコミュニティの形成を目指す。

- ・周遊動機の形成と情報発信

三内丸山遺跡の来訪者を本県へ誘引する施策や、白神山と縄文をセットにしたパネル展を継続する。

- ・受入体制の質的向上

近隣 4 遺跡(大湯・伊勢堂岱・御所野・是川)のボランティアガイド間のネットワークを強化し、資質向上を図る。



【縄文デジタルスタンプラリー】

## (3) 「SDG s で学ぶ鹿角」教育旅行の誘致

- ・ターゲット地域の多角化

従来の北海道に加え、交通便利性の高い関東圏や札幌市以外の道内諸地域への誘致活動を強化する。

- ・プログラムの磨き上げ

探究学習ニーズに対応するため、SDGs 関連施設の利用促進用セールスシートを作成し、地元小学校等へも PR する。



【教育旅行PRブック】

## 福祉環境部

全県的に人口減少と高齢化が進む中、鹿角地域の住民が健康で生き生きと安心して暮らせる地域をつくるため、「新秋田元気創造プラン」の重点戦略や基本政策に基づき、管内関係機関と協力し、次の3つの施策を推進します。

### 1 地域の健康危機管理体制の整備・強化

感染症や高病原性鳥インフルエンザ、大規模災害など様々な危機発生時において、福祉環境部が対応すべき業務について、平時から演習や訓練を重ね、各担当の習熟度の向上を図るとともに、対応の問題点や改善すべき点を検証し、万全な医療救護体制を強化する。

- ・ 高病原性鳥インフルエンザの防疫演習の実施
- ・ 感染症患者搬送訓練・防護服着脱訓練の実施
- ・ 災害発生時における初動対応訓練の実施



防護服着脱訓練

### 2 地域環境保全の推進 ～不法投棄未然防止事業～

地域の美しい環境を守るため、鹿角地域振興局管内の不法投棄廃棄物一掃を目的とし、市町、警察署、その他関係機関と連携して不法投棄防止及び廃棄物の適正処理を推進する。

- ・ 不法投棄一掃地域協議会の開催
- ・ 不法投棄廃棄物撤去啓発事業の実施
- ・ 不法投棄防止対策の実施(監視カメラ、啓発用看板の設置)
- ・ 環境監視員の巡回による監視、啓発活動



不法投棄廃棄物撤去啓発事業

### 3 食品衛生の向上推進

HACCP導入促進により食品事業者の衛生管理の向上を図るほか、食品衛生講習会や手洗い教室の開催を通じて、食中毒予防の啓発、食品衛生意識の向上を図る。

- ・ HACCP方式による衛生管理の導入に取り組む食品事業者へ助言指導
- ・ 秋田県版 HACCP 認証取得の推進
- ・ 食品衛生講習会の開催
- ・ 食品衛生協会との共同による手洗い教室の実施

## 農林部

人口減少と高齢化の進展による構造的な労働力不足など、社会情勢の変化に加え、燃油、資材費や人件費の高騰など、農林業を取り巻く環境変化が大きい中、「あきた農林水産ビジョン」を踏まえ、地域資源の活用と高収益作物の生産拡大による稼げる鹿角を目指すために、これまでの取組を一層強化するとともに、次の施策を重点的に推進する。

### 1 鹿角に活力を与える農林業の担い手確保

認定農業者等、意欲ある担い手への農地集積・集約化を推進し、経営の規模拡大を支援するとともに、多角化や複合化に取り組む経営体への支援を強化する。

新規就農者や就業者の確保・育成のため、相談体制の強化、資金・事業等の活用や就農後の営農サポートを重点的に行うなど、早期の営農計画達成と就業定着に向けて総合的な支援を展開する。

- ・認定農業者等の意欲ある担い手への農地集積・集約化を推進
- ・就農促進会議の開催
- ・新規就農に係る相談体制及び就農後サポートの強化
- ・移住支援における農林業の新規参入者の確保（移住・定住施策との連携）



【新規就農者への現地巡回指導】



【森林・林業体験プログラムによる  
林業用苗畑の現地研修】

### 2 土地利用型作物の生産性の向上と収益性の高い複合型生産構造の構築

農業法人による園芸メガ団地等の取組支援や大区画ほ場整備地区における高収益作物の導入・定着を進めるとともに、単収・品質の向上により園芸作物の生産拡大を図る。

さらに、地域の特色ある農畜産物について、リンゴ「秋田紅あかり」等の輸出への取組を進めるほか、「かづの牛」のブランド力向上と生産基盤の強化を支援する。

- ・ほ場整備地区における高収益作物の定着
- ・大規模園芸メガ団地に対する総合支援による収益確保
- ・リンゴ「秋田紅あかり」等の輸出促進
- ・かづの牛ブランドの向上と産地強化

### 3 森の恵みを未来につなぐ林業・木材産業の実践

林業の魅力発信や就業者の育成・定着を図るとともに、林業経営体の低コスト・省力技術の普及拡大とこれに必要な機械装備の導入を支援し、森林資源の循環利用を目指すほか、森林管理制度が円滑に進むよう、プロジェクトチームにより取組の支援を展開する。

- ・ 再造林の推進（造林・保育）
- ・ 市町との連携による森林経営管理制度の円滑な推進
- ・ 木育等の普及啓発活動に対する支援



【スマート林業技術機械による現地研修会】

### 4 農業の構造転換を加速するほ場整備等の推進

「稼げる農業」の実践に向けた農業の構造転換を加速化するため、ほ場の大区画化・汎用化によりスマート農業の導入を進めるほか、担い手への農地集積と高収益作物の生産性の向上と産地化を一体的に進め、経営の効率化・安定化を目指す。

- ・ ほ場整備実施地区の営農計画実現に対する支援
- ・ 整備要望地区への意向集約と営農構想の策定検討
- ・ 水利施設等の計画的な整備事業の推進



【毛馬内北部地区：  
全景（令和7年度工事実施区域）】



【毛馬内北部地区：  
ばれいしょの試験栽培】

## 建設部

新たな「秋田県総合計画」に基づき、社会経済活動や日常生活を支える社会資本の整備を着実に推進するとともに、持続可能な地域社会の構築に向け、老朽化が進行している社会資本ストックの適切な維持管理と計画的な改築更新に取り組む。

### (1) 改築事業及び補修事業

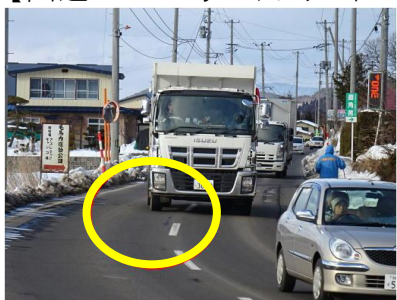
管内の主要路線として、八戸能代間を東西に結ぶ国道103号や盛岡青森間を南北に結ぶ国道282号が重要な役割を担っている。

いずれも「十和田八幡平国立公園」を中心とした観光拠点を連絡するほか、花輪や大館など主要生活圏を結ぶ幹線道路であり、さらに高速道路や大館能代空港など高速交通体系へのアクセス機能を持つ重要路線である。

国道282号西町工区や県道根瀬尾去沢線松館工区では、歩道が無く車道も幅員狭小であることから、歩行者の安心な空間と大型車の安全な走行を確保するため、歩道の新設と車道の拡幅整備を進めていく。

国道103号等では、橋梁等道路施設の計画的な修繕によるインフラ施設の長寿命化を進めていく。

#### 【国道282号 西町工区 (鹿角市十和田毛馬内)】



歩行者がいると車が車線を逸脱



冬は堆雪で道幅が狭くなり危険



工事が進む線形改良区間

#### 【県道根瀬尾去沢線 ねせおさりざわ まつだて 松館工区 (鹿角市八幡平)】



歩道が無く路肩を歩いて下校



大型車はぎりぎりのすれ違い



工事が進む現道拡幅区間

#### 【国道103号 大湯新橋 (鹿角市十和田大湯湯ノ岱)】



橋面防水による漏水防止



橋梁端部の漏水防止



舗装復旧 橋面補修の完成

【計画的な修繕による長寿命化が必要な橋梁】



国道 103 号 生出5号橋  
橋面からの漏水による支承発錆



県道十二所花輪大湯線 新田橋  
桁部の損傷による鉄筋露出



県道田山花輪線 中央橋  
桁部の損傷による鉄筋露出

(2) 河川改修事業 富士川 (鹿角市花輪陳場)

昭和 38 年に発生した 210 戸の浸水被害をはじめ昭和 50・55 年、近年では平成 19・25・26 年の度重なる豪雨により富士川が氾濫し、周辺家屋に被害が生じたことから、早期に治水安全度の向上を図るため、下流から順次河川改修を進めている。

当事業では効率的な整備とするため、1 工区で採用した「緩傾斜護岸」を 2 工区では「急傾斜護岸」に変更することで用地買収地を減らしつつ、さらに旧河川敷地を最大限活用しながら、コスト縮減と事業のスピードアップを図り整備を進めていく。

全体計画 S60 年～ 約 L=2.8km

○ 1 期工事 広域一般河川改修事業 (放水路 S60～H13) L=1.55km (概成)

○ 2 期工事 総合流域防災事業 (H14～R3)・大規模特定河川事業 (R4～) L=1.25km

・ 1 工区

(主) 十二所花輪大湯線組丁橋まで (H14～H25) 約 L=0.2km

(概成 緩傾斜護岸)

・ 2 工区

市道横町東山線陳場橋まで (H26～) 約 L=0.5km

(事業中 急傾斜護岸)

・ 3 工区 (未)

市道花輪小坂線富士川橋上流まで 約 L=0.6km

状況写真

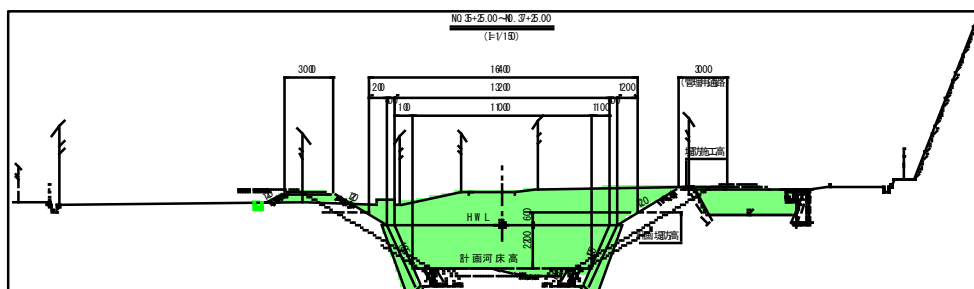
1 工区 (概成)



2 工区 (事業中)



標準断面図



## 令和8年度鹿角地域振興局各部の所管業務

### (1) 総務企画部

課	チーム	電話番号	所管業務
総務経理課	総務経理チーム	0186-22-0456	庶務一般、公印管理、文書、人事、 服務、福利厚生、庁舎管理、県有 財産管理、予算執行管理・決算、 工事経理、建設業許可事務
地域企画課 (鹿角地域未来 創造センター)	企画・十和田 八幡平観光チーム	0186-22-0457	局内総合調整、県政の広報・広聴、 重点施策、主要事業の総合調整、 市町・地方機関の連絡調整、商工 業振興、雇用労働、情報公開、個 人情報保護、危機管理、交通安全 対策、県民文化振興、男女共同参 画、人口減少対策、電気工事士(業) 登録、青少年健全育成、協働活動 支援、鹿角広域観光推進会議、観 光情報発信

### (2) 福祉環境部（北秋田地域振興局大館福祉環境部が兼務）

課	チーム	電話番号	所管業務
企画福祉課	調整・児童・ 障害者チーム	0186-52-3955	部内の総合調整、社会福祉法人の 許認可等、介護保険・高齢者対策、 身体障害者・知的障害者・精神障 害者の保健福祉施策、自殺予防、 ひきこもり対策、厚生統計、学生 実習等、児童福祉、母子・父子寡 婦福祉、女性相談、民生・児童委 員、生活困窮者自立支援
健康・予防課	健康・予防チーム	0186-52-3952	健康危機管理、受動喫煙対策、健 康増進、食生活改善、感染症予防、 難病患者等相談、地域保健活動、 母子保健、地域医療、医療機関の 許認可・監視指導、薬局等の許認 可・監視指導
環境指導課	環境対策チーム	0186-52-3954	水道・温泉等の許認可・指導、大 気汚染・水質汚濁の防止に関する 指導、汚染土壌に関する許可・指 導、廃棄物処理に関する許認可・ 指導
	衛生・動物愛護チーム	0186-52-3953	食品衛生・生活衛生関係営業施設 の監視・指導・許可、食中毒予防

## (3) 農林部

課	チーム	電話番号	所管業務
農業振興普及課	企画・振興チーム	0186-23-2123	部内の総合調整、新ふるさと秋田農林水産ビジョン、経営所得安定対策、気象災害、農業委員会、地域計画、養蜂振興法、肥料取締法、農業関係制度資金
	産地・普及チーム	0186-23-3683	普及活動業務の総括、普及活動計画の企画及び進行管理、農産物の生産振興、試験研究との連携及び生産技術実証、環境保全型農業、大規模園芸団地、土壌汚染防止対策、GAP
	担い手・経営チーム	0186-23-3683	担い手の確保・育成対策、集落営農・認定農業者の法人化推進、農業法人の複合化・多角化支援、6次産業化の推進、新規就農者の確保・育成対策、直売・加工活動支援、農業後継者組織
	果樹産地支援チーム (かづの果樹センター)	0186-25-3231	果樹に関する技術・経営支援、栽培実証
森づくり推進課	林業振興チーム	0186-23-2275	森林計画、流域林業管理システム、林業・木材産業構造改革事業、地域活動支援交付金、森林組合等団体指導、林業金融、林業労働力、木材産業の振興、林業普及、特用林産、緑化推進、保安林の指定・解除、保安林の作業許可、林地開発、鳥獣保護・猟政、入会林野、秋田県水と緑の森づくり税関係事業、森林環境税・森林環境譲与税
	森林整備チーム	0186-23-2275	林内路網（林道・基幹作業道・作業道）の計画・整備、治山施設の管理、造林補助事業及び基金事業、森林病虫害、林業種苗、県営林の管理

課	チーム	電話番号	所管業務
農村整備課	ふる里づくりチーム	0186-23-2243	土地改良区関係団体の指導、土地改良事業認可、資金融資、用地の取得・補償、土地改良財産の管理・処分、換地処分、ふるさと秋田元気創造プラン等各種プロジェクト、農業農村整備事業の調査計画、団体営事業（災害復旧事業）の指導・監督、日本型直接払交付金事業、秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業
	生産基盤チーム	0186-23-2243	農地中間管理機構関連ほ場整備事業、ため池等整備（河川対応・用排水施設）事業、高度土地利用調整事業（指導・調査・調整）

#### (4) 建設部

課	チーム	電話番号	所管業務
企画・用地課	企画監理チーム	0186-23-2301	部内調整、事業調整、入札契約事務、技術管理、研修、建設副産物対策
	用地・管理チーム		道路・河川の管理及び許認可、開発行為の許可、屋外広告物、公共用地の取得、補償及び登記
道路整備課	道路建設チーム	0186-23-2316	道路・都市計画事業の計画・設計・積算・監督業務
	道路保全チーム		道路施設の維持管理、除雪、通行規制、道路事業の計画・設計・積算・監督業務、道路災害復旧事業
河川整備課	河川砂防・保全チーム	0186-23-2302 砂子沢ダム 0186-25-8227	河川・砂防施設の維持管理、河川・砂防事業の計画・設計・積算・監督業務、河川災害復旧事業、砂子沢ダムの維持管理・洪水調節
建築課 (北秋田地域振興局が兼務)	建築指導チーム	0186-63-2531	建築物の確認・指導、建築士法、宅建業法
	住宅・営繕チーム	0186-63-2531	県有建築物の営繕、県営住宅管理、公営住宅建設の指導監督



---

令和8年5月 発行

## 鹿角地域の概要2026

お問い合わせ

秋田県鹿角地域振興局

総務企画部 TEL : 0186-22-0456 FAX : 0186-23-5574

福祉環境部 TEL : 0186-52-3955 FAX : 0186-52-3911

農 林 部 TEL : 0186-23-2123 FAX : 0186-23-7069

建 設 部 TEL : 0186-23-2301 FAX : 0186-23-6074

---